福県医発第１５３号（総）
平成１７年　４月１５日

受付 113
17. 4. 18
小郡三井医師会

各　医　師　会　長　　殿

福岡県医師会
会長　竹　嶋　康　弘

ヒヤリ・ハット事例収集事業の実施について

標記の件につきまして、福岡県保健福祉部より通知がありましたのでお知らせいたします。

標記事業につきましては、財団法人日本医療機能評価機構医療事故防止センターにおいて平成１６年４月より実施されていますが、今般、収集情報の質向上と本事業の効果的・効率的運用を目的とし別添のとおり事例収集体制が変更となりました。

つきましては、本件についてご了知いただくとともに、貴会会員への周知方につきご高配賜りますようよろしくお願い申し上げます。

なお、本事業に参加登録を行っている医療機関に対しては、財団法人日本医療機能評価機構から直接通知されています。

小郡三井医師会より　　**担当理事　福冨稔明・島田昇二郎**

丸山泉

１６医指第２７８９号
平成１７年３月２９日

社団法人福岡県医師会長
社団法人福岡県歯科医師会長
社団法人福岡県病院協会長
社団法人福岡県私設病院協会長
社団法人福岡県精神科病院協会長
全国自治体病院協議会福岡県支部長

殿

福岡県保健福祉部長
（医療指導課）

ヒヤリ・ハット事例収集事業の実施について

本県の保健福祉行政につきましては、平素から格別の御協力を賜り厚くお礼申し上げます

さて、標記の件について、厚生労働省より別添（写）のとおり通知がありましたのでお知らせします。

つきましては、貴会会員に対して周知していただきますようお願いします。

なお、本事業に参加登録を行っている医療機関に対しては、財団法人日本医療機能評価機構から別途通知されていることを申し添えます。

併せて、「医療施設における院内感染の防止について」（平成３年６月２６日付け指発第４６号厚生省健康対策局指導課長通知）は、廃止されたことを念のため申し添えます。

写

医政発第 0315018 号
薬食発第 0315003 号
平成１７年３月１５日

各都道府県知事　　殿

厚生労働省医政局長

厚生労働省医薬食品局長

ヒヤリ・ハット事例収集事業の実施について

厚生労働省では、平成１３年１０月から医療機関の協力により、ヒヤリ・ハット事例を収集・分析し、その改善方策等医療安全に資する情報を提供する医療安全対策ネットワーク整備事業（ヒヤリ・ハット事例収集事業）を実施しているところである。

平成１６年４月からは、対象を全医療機関に拡大するとともに、事例の収集実施機関を財団法人日本医療機能評価機構に変更したところである。今般、同機構において別添のとおり、「ヒヤリ・ハット事例収集事業要綱」を定めるとともに、収集体制の見直しに関する通知（平成１７年３月１日付財日医機評第７０９号）が発出されたことから、今後はこれらに基づき事業を実施することとしたので、管下医療機関に周知及び協力方お願いする。

なお、これに伴い平成１７年３月１日をもって平成１６年３月４日付医政発第 0304002 号・薬食発第 0304002 号厚生労働省医政局長・医薬食品局長通知「医療安全対策ネットワーク整備事業（ヒヤリ・ハット事例収集事業）への協力について」は廃止する。

別　添

.財日医機評第７０９号
平成１７年３月１日

厚生労働省　医政局長　殿

財団法人日本医療機能評価機構
理事長　　坪　井　　栄　孝

ヒヤリ・ハット事例収集事業の収集体制の変更について

当機構では、医療事故防止センターにおいて、平成１６年４月より「医療事故情報収集等事業」の一環として「ヒヤリ・ハット事例収集事業」（以下「本事業」という。）を実施しているところでありますが、今般、収集情報の質向上と本事業の効果的・効率的運用を目的として、下記のとおり事例収集体制の変更を行うこととといたしましたので、お知らせいたします。

尚、本事業に参加登録を行なっている医療機関に対しては同様に連絡文書を送付いたしております

本事業の趣旨にご理解賜りたく、ご協力をお願い申し上げます。

記

１．「記述情報」の収集内容の限定

「記述情報」に関しては、従来どおり全ての参加登録医療機関から収集することとし、収集内容については、収集期間（原則四半期）毎にテーマを定め、そのテーマに該当する事例をご報告いただく。ただし、以下に掲げる事例に関しては、広く医療機関等に周知する必要があることから、定められたテーマにかかわらず全期間を通じて収集を行うものとする。

①　もし、その行為が実施されていたら、あるいはその事象の発生に気づかなければ、患者が死亡もしくは重篤な状況にいたったと考えられる事例

②　薬剤の名称や形状に関連する事例、医療機器の誤操作など、薬剤・医療機器・

医療用具等に由来する事例

③　その他、医療機関において安全管理担当者が十分に精査を行ったうえで、その事例の報告を行うことが医療安全の向上に貢献すると判断した事例

なお、各期末に参加登録医療機関宛に電子メールを送付して、次回テーマをお知らせする。

2．「全般コード化情報」報告施設の定点化及び収集期間の変更

「全般コード化情報」に関しては、全国の参加登録医療機関から地域・規模・機能を勘案して選定した定点医療機関（以下「定点医療機関」という）より事例を収集する。「定点医療機関」は、全国で約300施設とし、その選定方法は別紙のとおりとする。「定点医療機関」からは当該期間に発生した全てのヒヤリ・ハット事例に関する「全般コード化情報」をご報告いただく。なお、「全般コード化情報」をご報告いただく「定点医療機関」については、当機構から、別途協力をお願いする文書を送付する。

また、定点医療機関確定後の推移を観察するために、「全般コード化情報」の収集・報告期間をこれまでの半年毎から四半期毎とする。

以上

ヒヤリ・ハット事例収集事業要綱

財団法人日本医療機能評価機構
医療事故防止センター

Ⅰ　ヒヤリ・ハット事例収集事業について

１．目的

効果的な医療安全対策を講じるためには、医療事故につながり得る様々な要因を客観的に把握し、その分析に基づいた対策を講じる必要がある。

各医療機関においては、医療安全に資する情報の収集・分析体制を構築しているところであり、個々の医療機関の事情に基づく要因を超えて、各医療機関に共通する要因や改善策を広く効果的に収集し、個々の要因の重要性や傾向を把握することが重要である。

このため、個々の医療機関が収集・分析した情報や、当該情報を基に検討した対策などを収集・分析し、提供することにより、広く医療機関が医療安全対策に有用な情報を共有するとともに、国民に対して情報を提供することなどを通じて、医療安全対策の一層の推進を図ることを目的とする。

２．事業の概要

全国から参加を申請した医療機関から、「ヒヤリ・ハット事例」を報告様式に従って収集し、集計・分析を行ない、その結果を広く国民等に提供する。

Ⅱ　ヒヤリ・ハット事例情報の収集対象と方法

１．　収集対象事例及び収集対象情報

(１)ヒヤリ・ハット事例の定義

収集の対象事例は「ヒヤリ・ハット事例」とする。本事業でいう「ヒヤリ・ハット事例」とは、以下に該当する事例を指す。

①　誤った医療行為等が、患者に実施される前に発見された事例

②　誤った医療行為等が実施されたが、結果として患者に影響を及ぼすに至らなかった事例

③　誤った医療行為等が実施され、その結果、軽微な処置・治療を要した事例

(２)収集する情報は、「記述情報」と、「全般コード化情報」の２つである。

①　記述情報

医療安全対策を推進する観点から、広く情報提供することが重要であると考える事例について発生要因や改善方策等を「記述情報」の報告様式に則り収集する。

なお、「記述情報」では次に該当する事例の収集を行う。

a.収集期間ごとに定められたテーマに該当する事例

b.テーマにかかわらず、全期間を通じて収集を行う事例

・もしその行為が実施されていたら、あるいはその事象の発生に気づかなければ、患者が死亡もしくは重篤な状況に至ったと考えられる事例
・薬剤の名称や形状に関連する事例、医療機器の誤操作など、薬剤・医療機器・医療用具等に由来する事例（医薬品・医療用具・諸物品が要因と考えられる事例については、併せて事例に関連した薬剤（販売）名、規格単位等の情報を収集する。）
・その他、医療機関において安全管理担当者が十分に精査を行ったうえで、その事例の報告を行うことが医療安全の向上に貢献すると判断する事例

② 全般コード化情報

ヒヤリ・ハット事例全般について、その発生傾向等を把握するため、発生場面や内容等に関する情報をコード表に基づいた報告様式に則り収集する。なお、全般コード化情報では、収集期間中に発生した全てのヒヤリ・ハット事例を収集対象とする。

	記述情報	全般コード化情報
コード表	【別添１】	【別添３】
コード表等選択（入力ガイド）	【別添２】	【別添４】

２．対象医療機関の範囲

本事業は参加登録医療機関を対象として行う。

① 記述情報

参加申請登録を行った全ての医療機関から収集を行う。

② 全般コード化情報

参加登録医療機関のうち、定点として定められた医療機関から収集を行う。

	記述情報	全般コード化情報
定点医療機関	○	○
その他の参加登録医療機関	○	収集せず

３．参加登録医療機関の申請方法

本事業に参加を希望する医療機関は、「ヒヤリ・ハット事例収集事業参加登録申請書」【別添５】に必要事項を記載の上、当財団へ郵送または Fax で申し込むものとする。

財団法人日本医療機能評価機構　医療事故防止センター
ヒヤリ・ハット事例収集事業担当係
〒101-0062
東京都千代田区神田駿河台 3 丁目 11 番地
三井住友海上駿河台別館ビル 7 階
Tel　03－5217－0251　　Fax　03－5217－0253

4．受付 ID 及び確認コードについて

① 入力及び指定フォーマット（CSV 形式）システムのダウンロードに必要な受付 ID と確認コードは、参加登録作業が完了後に施設長宛に送付される。

② 「ヒヤリ・ハット事例収集事業参加登録申請書」の記載事項に関して変更が生じた場合は、速やかに変更の申請【別添６】を行う。

③ 受付 ID 及び確認コードの再交付が何らかの事由で必要となった場合は、速やかに再交付の申請【別添６】を行う。

5．登録の取消

参加登録医療機関が何らかの事由により本事業への参加が困難になった場合は、当財団に参加登録取消の申請【別添６】を行ない、受付 ID・確認コードを返還する。

6．医療機関の報告方法

報告方式は、①Web 報告方式と②指定フォーマット（CSV 形式）報告方式の２つである。参加登録申請の際にいずれかの方式を選択する。

①Web 報告方式

インターネット回線（SSL 暗号化通信方式）を通じ、Web 上の専用報告画面を用いて報告を行う。報告用アドレスは次の通りである。

http//www.hiyari-hatto.jp/

②指定フォーマット（CSV 形式）報告方式

Web サイトからダウンロードしたシステムに入力し、報告用指定フォーマット（CSV 形式）ファイルを作成する。作成したファイルは FD に記録し、郵送で送付する。なお、指定フォーマット（CSV 形式）報告方式に必要なプログラム及びマニュアルは、参加登録申請後に送付される受付 ID 及び確認コードを使用してメインページへアクセスし、「報告にあたって」の画面を開いてダウンロードする。

システムのダウンロードサイトは次の通りである。

http//www.hiyari-hatto.jp/

7．収集期間及びスケジュール

① ヒヤリ・ハット事例の報告は、原則として随時受け付ける。ただし、報告された情報の集計は、記述情報・全般コード化情報のいずれも四半期とする。

② 四半期ごとの報告締め切り日は、各四半期末の翌々月の第３月曜日とする。

8．情報の返還

当機構に報告された情報は、報告方式に関わらず、報告締切日以降に Web 報告システム上で返還が可能である。参加登録医療機関が情報の返還を希望する場合は、受付 ID および確認コードを使用してメインページへアクセスし、「報告事例検索」画面を通じて報告情報をダウンロードすることができる。

9．事例情報の確認等について

事例に関して不明な点等については、当財団から参加登録医療機関に対して照会を行う場合がある。

III 収集・分析結果の公表について

1．分析・公表

収集した情報は、当機構において専門家が分析を行い、報告書として取りまとめ、医療機関、国民、行政に対して広く公表する。

2．報告書を踏まえ、必要に応じて、行政、関係団体、個別企業に対して医療安全に資すると考えられる要請を行う。

IV 情報の取り扱いについて

1．当機構医療事故防止センターにおける守秘義務

医療事故防止センターの守秘義務の対象となる情報は以下のとおりである。

・医療機関に関する情報
・事例に関する情報
・報告された事例に関して業務遂行過程で知得した情報
・その他、患者・家族・医療従事者等に関する個人情報

ただし、以下の情報は対象情報として取り扱わないものとする。

・すでに公表または公知の事実となっている情報
・報告を受けた後、所定の手順を経て当該医療機関ならびに関係者を特定

しうる情報を削除した事例情報

２．情報の目的外使用

当事業において収集した情報については、医療安全対策に係る目的以外には使用しない。

３．明らかに「記述情報」の収集対象にあたらないと考えられる報告及び患者、医療従事者または報告者等の個人を特定しうる情報は収集の対象としない。これらについては、報告を受理しないことがある。

作成　平成１７年3月１日

【別添1】

「記述情報」コード・記述項目表

1．　基本的項目

(1)　選択項目

①　発生曜日区分

ア　発生曜日

01　月曜日	04　木曜日	07　日曜日
02　火曜日	05　金曜日	90　不明
03　水曜日	06　土曜日	

※「全般コード化情報」入力に引き続き、「記述情報」入力を行う場合には、「全般コード化情報」コードの《B－1：発生曜日》が自動的に入力される。

イ　曜日区分

01　平日
02　休日（祝祭日を含む）
90　不明

※「全般コード化情報」入力に引き続き、「記述情報」入力を行う場合には、「全般コード化情報」コードの《B－2：曜日区分》が自動的に入力される。

ウ　発生時間帯

01　0時～1時台	06　10時～11時台	11　20時～21時台
02　2時～3時台	07　12時～13時台	12　22時～23時台
03　4時～5時台	08　14時～15時台	90　不明
04　6時～7時台	09　16時～17時台	
05　8時～9時台	10　18時～19時台	

※「全般コード化情報」入力に引き続き、「記述情報」入力を行う場合には、「全般コード化情報」コードの《C：発生時間帯》が自動的に入力される。

② 事例のカテゴリー

ア 発生場所

0101 外来診察室	0500 分娩室	1200 放射線治療室
0102 外来待合室	0601 ICU	1300 透析室
0199 外来のその他の場所（　　）	0602 CCU	1400 薬局･輸血部
0200 救急処置室	0603 NICU	1500 栄養管理室･調理室
0301 ナースステーション	0699 その他の集中治療室（　　）	1600 トイレ
0302 病室	0700 検査室	1700 廊下
0303 処置室	0800 機能訓練室	1800 階段
0304 浴室	0900 IVR 治療室	9000 不明
0399 病棟のその他の場所（　　）	1000 放射線撮影室･検査室	9901 その他の場所（院内）（　　）
0400 手術室	1100 核医学検査室	9902 その他の場所（院外）（　　）

※「全般コード化情報」入力に引き続き、「記述情報」入力を行う場合には、「全般コード化情報」コードの《D：発生場所》が自動的に入力される。

イ 事例に関連した診療科（最も関連あると思われる項目を1つ選択）

01 精神科	12 呼吸器外科	23 耳鼻咽喉科
02 神経科	13 心臓血管外科	24 リハビリテーション科
03 呼吸器内科	14 消化器外科	25 放射線科
04 循環器内科	15 小児外科	26 麻酔科
05 消化器内科	16 整形外科	27 歯科
06 心療内科	17 形成外科	28 歯科口腔外科
07 アレルギー科	18 その他の外科（　　）	80 該当無し
08 リウマチ科	19 皮膚科	90 不明
09 その他の内科（　　）	20 泌尿器科	99 その他の診療科（　　）
10 小児科	21 産婦人科	
11 脳神経外科	22 眼科	

ウ　内容（最も関連あると思われる項目を1つ選択）

01 処方	14 観察
02 与薬（内服・外用）	15 食事と栄養
03 与薬（注射・点滴）	16 排泄の介助
04 調剤	17 清拭・入浴介助等
05 輸血	18 移送
06 手術	19 転倒・転落
07 麻酔	20 感染防止
08 分娩	21 環境整備
09 リハビリテーション	22 情報・記録
10 処置	23 説明
11 医療用具（機器）の使用・管理	24 事務
12 検査	25 歯科医療用具（機器）・材料の使用・管理
13 ドレーン・チューブ類の使用・管理	90 不明
	99 その他 （　　）

③ 患者の心身状態（複数入力可）

0100 意識障害	0700 上肢障害	1300 薬剤の影響下
0200 視覚障害	0800 下肢障害	1400 麻酔中・麻酔前後
0300 聴覚障害	0900 歩行障害	7700 障害なし
0400 構音障害	1000 床上安静	9000 不明
0500 精神障害	1100 睡眠中	9900 その他 （　　）
0600 痴呆・健忘	1200 せん妄状態	

※「全般コード化情報」入力に引き続き、「記述情報」入力を行う場合には、「全般コード化情報」コードの《G：患者の心身状態》が自動的に入力される。

④ 当事者の職種（複数入力可）

01 医師	11 診療放射線技師	21 臨床心理士
02 歯科医師	12 臨床検査技師	22 社会福祉士
03 助産師	13 衛生検査技師	23 介護福祉士
04 看護師	14 理学療法士（PT）	24 臨床工学技士
05 准看護師	15 作業療法士（OT）	25 児童指導員・保育士
06 看護助手	16 言語聴覚士（ST）	26 事務職員
07 薬剤師	17 歯科衛生士	90 不明
08 管理栄養士	18 歯科技工士	99 その他 （　　）
09 栄養士	19 視能訓練士	

10 調理師･調理従事者	20 精神保健福祉士	

※「全般コード化情報」入力に引き続き、「記述情報」入力を行う場合には、「全般コード化情報」コードの《Ｉ：当事者の職種》が自動的に入力される。

⑤ 当事者の職種経験年数

ア 年数

000 0年	010 １0年	100 １００年
001 1年	011 １1年	888 当事者複数
002 2年	・ ・	900 年数不明
・ ・	・ ・	
・ ・	・ ・	
009 9年	099 ９９年	

※「全般コード化情報」入力に引き続き、「記述情報」入力を行う場合には、「全般コード化情報」コードの《Ｊ－１：当事者の職種経験年数》が自動的に入力される。

イ 月数

00 0ヶ月	05 5ヶ月	10 １0ヶ月
01 1ヶ月	06 6ヶ月	11 １1ヶ月
02 2ヶ月	07 7ヶ月	88 当事者複数
03 3ヶ月	08 8ヶ月	90 月数不明
04 4ヶ月	09 9ヶ月	

※「全般コード化情報」入力に引き続き、「記述情報」入力を行う場合には、「全般コード化情報」コードの《Ｊ－２：当事者の職種経験月数》が自動的に入力される。

⑥ 当事者の部署配属年数

ア 年数

000 0年	010 １0年	100 １００年
001 1年	011 １1年	888 当事者複数
002 2年	・ ・	900 年数不明
・ ・	・ ・	
・ ・	・ ・	
009 9年	099 ９９年	

※「全般コード化情報」入力に引き続き、「記述情報」入力を行う場合には、「全般コード化情報」コードの《Ｋ－１：当事者の部署配属年数》が自動的に入力される。

イ 月数

00 0ヶ月	05 5ヶ月	10 １0ヶ月

01　1ヶ月	06　6ヶ月	11　11ヶ月
02　2ヶ月	07　7ヶ月	88　当事者複数
03　3ヶ月	08　8ヶ月	90　月数不明
04　4ヶ月	09　9ヶ月	

※「全般コード化情報」入力に引き続き、「記述情報」入力を行う場合には、「全般コード化情報」コードの《K－2：当事者の部署配属月数》が自動的に入力される。

(2)　記述項目

①事例の具体的内容

「本来何をしようとしていたのか」、「実際には何をしてしまったのか」、「何が起こったのか」、「発生時の状況」、「発見に至った経緯」、「推定される患者への影響」等が判るように、具体的に記述して下さい。

②事例が発生した背景・要因

ヒヤリ・ハット発生の直接的な要因のみではなく、以下のような背景にある要因や考えられるシステム上の問題点等に関しても、具体的に記述して下さい。

・新人等の院内事故防止教育の問題点
・薬剤の採用や保管の問題点
・医療・歯科医療用具（機器）・医療材料の採用や保守・管理の問題点
・情報の伝達・連携と情報共有のあり方の問題点
・業務手順・ルール、チェックの仕組みの問題点
・業務、労働体制上の問題点
・物理的な環境や設備上の問題点

③実施した、若しくは考えられる改善策

（②の要因に基づいて、実施した（または実施しようとしている）対策について記述して下さい。）

2．医薬品･医療･歯科医療用具（機器）･諸物品が要因と考えられる事例に関する追加項目

医薬品、医療･歯科医療用具（機器）、諸物品が要因と考えられるヒヤリ･ハットの場合、下記の項目にも記述して下さい。

（1）医薬品に関連した事例の場合

	関連した薬剤	医薬品の取り違え事例の場合、本来投与すべき薬剤
販売名		
剤型		
規格単位 （含有量、濃度）		
製造（輸入販売）業者名		

（2）医療･歯科医療用具（機器）、諸物品に関連した事例の場合

	○医療･歯科医療用具（機器）○諸物品
販売名	
製造（輸入販売）業者名	
購入年	

【別添２】

「記述情報」コード・記述項目入力ガイド

【収集する情報一覧】

１．基本的項目

（１）選択項目

①発生曜日区分（ア：発生曜日、イ：曜日区分、ウ：発生時間帯）
②事例のカテゴリー（ア：発生場所、イ：事例に関連した診療科、ウ：内容）
③患者の心身状態
④当事者の職種
⑤当事者の職種経験年数
⑥当事者の部署配属年数

（２）記述項目

①事例の具体的内容
②事例が発生した背景・要因
③実施した、若しくは考えられる改善策

２．医薬品・医療・歯科医療用具（機器）・諸物品が要因と考えられる事例に関する追加項目

（１）医薬品に関連した事例の場合
（２）医療・歯科医療用具（機器）、諸物品に関連した事例の場合

【各項目の情報入力について】

「記述情報」は、医療事故の予防上、有益と考えられる事例について、以下の注意に従って入力してください。

１．基本的項目

（１）選択項目

- **「記述情報」コード表を参照し、以下の点に注意して入力してください。**
- **「その他」が含まれるコードを選択した場合は可能な限り、具体的な発生場所を該当箇所に文字入力（全角 500 文字）してください。**

①発生曜日区分

- **発生曜日を選択した上で、平日・休日の区別を選択してください。**
- **発生した曜日が分からない場合は、「不明」を選択してください。**

ア　発生曜日

01　月曜日	04　木曜日	07　日曜日
02　火曜日	05　金曜日	90　不明
03　水曜日	06　土曜日	

注：「全般コード化情報」入力に引き続き「記述情報」入力を行う医療機関の方へ

「全般コード化情報」入力に引き続き「記述情報」入力を行う場合には「全般コード化情報」コードのＢ－１≪発生曜日≫が自動的に入力されるので、この項目については入力の必要はありません。

イ　曜日区分

01　平日
02　休日（祝祭日を含む）
90　不明

注：「全般コード化情報」入力に引き続き「記述情報」入力を行う医療機関の方へ

「全般コード化情報」入力に引き続き「記述情報」入力を行う場合には「全般コード化情報」コードのＢ－２≪曜日区分≫が自動的に入力されるので、この項目については入力の必要はありません。

ウ 発生時間帯

・発生時間帯が明確でない場合は、推定時間を回答してください。

・発生した時間帯が分からない場合は、「不明」を選択してください。

01　０時～１時台	06　１０時～１１時台	11　２０時～２１時台
02　２時～３時台	07　１２時～１３時台	12　２２時～２３時台
03　４時～５時台	08　１４時～１５時台	90　不明
04　６時～７時台	09　１６時～１７時台	
05　８時～９時台	10　１８時～１９時台	

注：「全般コード化情報」入力に引き続き「記述情報」入力を行う医療機関の方へ

「全般コード化情報」入力に引き続き「記述情報」入力を行う場合には「全般コード化情報」コードのＣ≪発生時間帯≫が自動的に入力されるので、この項目については入力の必要はありません。

②事例のカテゴリー

ア：発生場所

・ヒヤリ・ハットが発生した、又は発生したと推定される場所を選択してください。分からない場合は、「不明」を選択してください。

・「外来：その他」、「病棟：その他」、「集中治療室：その他」、「その他：院内」「その他：院外」を選択した場合には、可能な限り具体的な発生場所を該当箇所に文字入力してください。

0101 外来診察室	0500　分娩室	1200　放射線治療室
0102 外来待合室	0601　ICU	1300　透析室
0199　外来のその他の場所（　　）	0602　CCU	1400　薬局・輸血部
0200　救急処置室	0603　NICU	1500　栄養管理室・調理室
0301 ナースステーション	0699 その他の集中治療室（　　）	1600　トイレ
0302 病室	0700　検査室	1700　廊下
0303 処置室	0800　機能訓練室	1800 階段
0304 浴室	0900　IVR 治療室	9000　不明
0399　病棟のその他の場所（　　）	1000 放射線撮影室・検査室	9901 その他の場所（院内）（　　）
0400　手術室	1100　核医学検査室	9902 その他の場所（院外）（　　）

注：「全般コード化情報」入力に引き続き「記述情報」入力を行う医療機関の方へ

「全般コード化情報」入力に引き続き「記述情報」入力を行う場合には「全般コード化情報」コードのＤ≪発生場所≫が自動的に入力されるので、この項目については入力の必要はありません。

イ：事例に関連した診療科

・ヒヤリ・ハットが発生した、又は発生したと推定される診療科を選択してください。分からない場合は、「不明」を選択してください。

・「その他の内科」「その他の外科」「その他の診療科」を選択した場合には、可能な限り具体的な診療科を文字入力してください。

01　精神科	11　脳神経外科	21　産婦人科
02　神経科	12　呼吸器外科	22　眼科
03　呼吸器内科	13　心臓血管外科	23　耳鼻咽喉科
04　循環器内科	14　消化器外科	24　リハビリテーション科
05　消化器内科	15　小児外科	25　放射線科
06　心療内科	16　整形外科	26　麻酔科
07　アレルギー科	17　形成外科	27　歯科
08　リウマチ科	18　その他の外科	28　歯科口腔外科
09　その他の内科	（　　）	80　該当無し
（　　）	19　皮膚科	90　不明
10　小児科	20　泌尿器科	99　その他の診療科
		（　　）

ウ：内容

・ヒヤリ・ハットの内容について、事例に最も関連があると思われる項目を１つ選択してください。分からない場合は、「不明」を選択してください。

・「その他」を選択した場合には、可能な限り事例に関連のあると思われる内容を文字入力してください。

01　処方	15　食事と栄養
02　与薬（内服・外用）	16　排泄の介助
03　与薬（注射・点滴）	17　清拭・入浴介助等
04　調剤	18　移送
05　輸血	19　転倒・転落
06　手術	20　感染防止
07　麻酔	21　環境整備
08　分娩	22　情報・記録
09　リハビリテーション	23　説明
10　処置	24　事務
11　医療用具（機器）の使用・管理	25　歯科医療用具（機器）・材料の使用・管理
12　検査	90　不明
13　ドレーン・チューブ類の使用・管理	99　その他　（　　）
14　観察	

③患者の心身状態（複数入力可）

・複数の項目に該当する場合には、複数の項目を選択してください。
・「その他」を選択した場合は、具体的な患者の心身状態を該当箇所に文字入力してください。

0100　意識障害	0700　上肢障害	1300　薬剤の影響下
0200　視覚障害	0800　下肢障害	1400　麻酔中・麻酔前後
0300　聴覚障害	0900　歩行障害	7700　障害なし
0400　構音障害	1000　床上安静	9000　不明
0500　精神障害	1100　睡眠中	9900 その他
0600　痴呆・健忘	1200　せん妄状態	（　　）

注：「全般コード化情報」入力に引き続き「記述情報」入力を行う医療機関の方へ
「全般コード化情報」入力に引き続き「記述情報」入力を行う場合には「全般コード化情報」コードのＧ≪患者の心身状態≫が自動的に入力されるので、この項目については入力の必要はありません。

④当事者の職種（複数入力可）
・当事者とはヒヤリ・ハットに関わった人のことです。
・ヒヤリ･ハットに関わった人が複数存在する場合には、該当職種を複数選択し入力してください。
・　「その他」を選択した場合は、具体的な当事者を該当箇所に文字入力してください。

01　医師	11　診療放射線技師	21　臨床心理士
02　歯科医師	12　臨床検査技師	22　社会福祉士
03　助産師	13　衛生検査技師	23　介護福祉士
04　看護師	14　理学療法士（PT）	24　臨床工学技士
05　准看護師	15　作業療法士（OT）	25　児童指導員・保育士
06　看護助手	16　言語聴覚士（ST）	26　事務職員
07　薬剤師	17　歯科衛生士	90　不明
08　管理栄養士	18　歯科技工士	99　その他
09　栄養士	19　視能訓練士	（　　）
10　調理師・調理従事者	20　精神保健福祉士	

注：「全般コード化情報」入力に引き続き「記述情報」入力を行う医療機関の方へ
「全般コード化情報」入力に引き続き「記述情報」入力を行う場合には「全般コード化情報」コードのＩ≪当事者の職種≫が自動的に入力されるので、この項目については入力の必要はありません。

⑤当事者の職種経験年数

・当事者の経験年数を選択してください。月の単位まで分かる場合は月数も選択し、月数が不明な場合は、「月数不明」を選択してください。ただし、1年未満の場合は、必ず月数を入力してください。

・経験年数が分からない場合は、「年数不明」、勤務月数が分からない場合は「月数不明」を選択してください。

・当事者が複数いる場合は、「当事者複数」を選択してください。

ア　年数

000　０年	010　１０年	100　１００年
001　１年	011　１１年	888　当事者複数
002　２年	・　・	900　年数不明
・　・	・　・	
・　・	・　・	
009　９年	099　９９年	

注：「全般コード化情報」入力に引き続き「記述情報」入力を行う医療機関の方へ

「全般コード化情報」入力に引き続き「記述情報」入力を行う場合には「全般コード化情報」コードのＪ－Ｉ≪当事者職種経験年数≫が自動的に入力されるので、この項目については入力の必要はありません。

イ　月数

00　０ヶ月	05　５ヶ月	10　１０ヶ月
01　１ヶ月	06　６ヶ月	11　１１ヶ月
02　２ヶ月	07　７ヶ月	88　当事者複数
03　３ヶ月	08　８ヶ月	90　月数不明
04　４ヶ月	09　９ヶ月	

注：「全般コード化情報」入力に引き続き「記述情報」入力を行う医療機関の方へ

「全般コード化情報」入力に引き続き「記述情報」入力を行う場合には「全般コード化情報」コードのＪ－２≪当事者の職種経験月数≫が自動的に入力されるので、この項目については入力の必要はありません。

⑥当事者の部署配属年数

・当事者がその部署に配属されてからの年数を選択してください。月の単位まで分かる場合は月数も選択し、月数が不明な場合は、「月数不明」を選択してください。ただし、1年未満の場合は、必ず月数を入力してください。

・部署配属年数が分からない場合は、「年数不明」、部署配属月数が分からない場合は、「月数不明」を選択してください。

・当事者が複数いる場合は、年数･月数ともに「当事者複数」を選択してください。

ア　年数

000　０年	010　１０年	100　１００年
001　１年	011　１１年	888　当事者複数
002　２年	・　・	900　年数不明
・　・	・　・	
・　・	・　・	
009　９年	099　９９年	

注：「全般コード化情報」入力に引き続き「記述情報」入力を行う医療機関の方へ

「全般コード化情報」入力に引き続き「記述情報」入力を行う場合には「全般コード化情報」コードのＫ－１≪当事者の部署配属年数≫が自動的に入力されるので、この項目については入力の必要はありません。

イ　月数

00　０ヶ月	05　５ヶ月	10　１０ヶ月
01　１ヶ月	06　６ヶ月	11　１１ヶ月
02　２ヶ月	07　７ヶ月	88　当事者複数
03　３ヶ月	08　８ヶ月	90　月数不明
04　４ヶ月	09　９ヶ月	

注：「全般コード化情報」入力に引き続き「記述情報」入力を行う医療機関の方へ

「全般コード化情報」入力に引き続き、「記述情報」入力を行う場合には「全般コード化情報」コードのＫ－２≪当事者の部署配属月数≫が自動的に入力されるので、この項目については入力の必要はありません。

（２）記述項目

・事例についての詳細な情報が分析のために必須となります。以下の記述ガイド及び記述情報記入例を参考に記入してください。

・「事例の具体的な内容」、「事例が発生した背景・要因」、「実施した、若しくは考えられる改善策」の欄への文字入力はそれぞれ全角 1000 字以内で行ってください。

・入力に際しては日本語(Shift_JIS)コードをご使用ください。使用できる文字は全角のみとなります。半角カタカナ、外字（記号等）は使用できませんので御注意ください。

・入力に当たっては、具体的な患者名、当事者名、施設名等の個人に関する情報が含まれないよう、十分ご注意ください。

①事例の具体的内容

・「本来何をしようとしていたのか」、「実際には何をしてしまったのか」、「何が起こったのか」、「発生時の状況」、「発見に至った経緯」、「推定される患者への影響」等が分かるように、以下の情報記入例を参考にして具体的に記述してください。

・入力に当たっては、患者名、当事者名、施設名等の情報が含まれないよう十分ご注意ください。

・ヒヤリ・ハットが詳細に分かるように、「誰が、いつ、何を、どこで、どうしたか」（５Ｗ１Ｈ）を具体的かつ明確に記述してください。

・特に、診療科や事例の当事者の職種は、なるべく記入してください。

・以下の記述情報記入例を参考にしてください。

①「事例の具体的内容」の記入例

９月○日の午前４時、巡視中の経験５年目の看護師が、内科病棟の４人部屋で患者Ｓ氏（７８歳）の電動ベッドが約４５°起きあがり、折りたたみ式ベッド柵の空間に頭がはまり込んだ状態でＳ氏が入眠しているのを発見した。Ｓ氏は糖尿病治療目的で入院後１日目であり、軽度の痴呆症状があるが、自宅では夜間の異動行動などは見られていなかった。昨夜は 22 時頃静かに入眠しており、２時の巡視時には異常はなかった。電動ベッドの手元スイッチは床頭台においてあった。

②事例が発生した背景・要因

・ヒヤリ・ハット発生の直接的な要因のみではなく、以下のような背景にある要因や考えられるシステム上の問題点等に関しても、院内でできる限り分析して、具体的に記述してください。

●新人等の院内事故防止教育の問題点
●薬剤の採用や保管の問題点
●医療・歯科医療用具（機器）・医療材料の採用や保守・管理の問題点
●情報の伝達・連携と情報共有のあり方の問題点
●業務手順・ルール、チェックの仕組みの問題点
●業務、勤務体制上の問題点
●物理的な環境や設備上の問題点

・直接的な要因とは、概ね従事者個々人の先入観や勘違い、確認不足、知識不足といったものであり、根本的な要因とは、作業環境や組織的な問題など構造的な欠陥を指します。

・記入に当たっては、以下の記述情報記入例を参考にしてください。

②「事例が発生した背景・要因」の記入例

1　折りたたみ式ベッド柵の空間は 24㎝ あり、人間の頭部（幅 17㎝）が入る設計であること。
2　痴呆症状のある患者に対し、電動ベッドの電源プラグを入れ、患者の容易に手が届くところに手元スイッチが置かれていたこと。
3　電動ベッド使用上のリスク対策についての基準が明確でなく、看護師個々の判断に任せていること。

③実施した、若しくは考えられる改善策

・同様のヒヤリ・ハットの発生を予防するために実施した、若しくは有効であると考えられる対策について記述してください。
・改善策検討の主な視点として、
(1)システム面での改善
●薬剤の採用や保管
●医療・歯科医療用具（機器）の保守・管理
●情報の伝達･連携と情報共有のあり方
●業務手順・ルール、チェックの仕組み
●業務・業務体制
(2)モノに関する改善
●物理的な環境や設備等
(3)人の問題に関する改善
●新人等の院内教育等
の３つがありますので、これらの視点から十分検討してください。
・なお、改善策としては、「確認の徹底」が挙げられることが多いですが、これにとどまらず、システムやモノの改善等を検討して下さい。
・記入に当たっては、以下の記述情報記入例を参考にしてください。

③「実施した、もしくは考えられる改善策」の記入例

１　痴呆症状を有する患者にはベッド柵の空間をふさぐサイドレールスペーサーを使用する。
２　痴呆症状を有する患者に電動ベッドを使用する際には電源プラグを抜く、内側に防護マットを設置するなど、患者状況に合わせた具体策を盛り込む。
３　電動ベッド使用上の事故防止対策として、院内規則に盛り込み周知徹底を図ると共に、看護部として操作取り扱いについての必要な研修を行う。
４　今回の事例をメーカーに情報提供し、フェール・セーフの設計について検討を依頼する。（例えば車のパワーウインドウのように、電動ベッドの手元スイッチがＯＮになっても、異物をセンサーでキャッチしたら操作が止まるしくみにする、など）

２．医薬品・医療・歯科医療用具（機器）・諸物品が要因と考えられる事例に関する追加項目

医薬品、医療・歯科医療用具（機器）、諸物品が要因と考えられるヒヤリ・ハット事例の場合、どのようなモノが関連したのか、モノの特定を可能にするための記述情報として、基本的項目に加え、販売名等の追加項目に必ず記述してください。

（１）医薬品に関連した事例の場合

・医薬品に関連した事例の場合は、その関連した薬剤について、以下の販売名、剤型、規格単位、製造（輸入販売）業者名に必ず記述してください。

・関連した薬剤が、別の医薬品との取り違え事例の場合は、本来投与すべき薬剤についても同様に記述してください。

	関連した薬剤	医薬品の取り違え事例の場合、本来投与すべき薬剤
販売名	・関連した薬剤が特定できるよう販売名を正しく記述してください。	・別の医薬品との取り違え事例の場合は、本来投与すべき薬剤の販売名を正しく記述してください。
剤型	・錠剤、カプセル剤、アンプル剤、バイアル剤、坐剤等、医薬品の剤型を正しく記述してください。	・本来投与すべき薬剤の剤型を正しく記述してください。
規格単位（含有量、濃度）	・１０ｍｇ、５％等、規格単位を正しく記述してください。	・本来投与すべき薬剤の規格単位を正しく記述してください。
製造（輸入販売）業者名	・「販売名」欄に記入した医薬品を製造又は輸入販売した企業名を正しく記述してください。	・本来投与すべき薬剤の製造又は輸入販売した業者名を正しく記述してください。

（２）医療・歯科医療用具（機器）、諸物品に関連した事例の場合

・はじめに、医療・歯科医療用具（機器）又は諸物品のいずれかを選択したうえで、以下の販売名、製造（輸入販売）業者名、購入年に必ず記述してください。

	○　医療・歯科医療用具（機器）　○　諸物品
販売名	医療用具（機器）、諸物品が特定できるよう販売名を正しく記述してください。販売名が不明な場合については、「人工呼吸器」、「輸液ポンプ」等、物が特定できるような一般的名称を記述してください。
製造（輸入販売）業者名	関連した医療用具（機器）、諸物品を製造又は輸入販売した企業名を正しく記述してください。
購入年	医療用具（機器）、諸物品について、購入年を西暦表記（数字４桁）で正しく記述してください。

【別添3】

「全般コード化情報」コード表

A 《発生月》

01 1月	06 6月	11 11月
02 2月	07 7月	12 12月
03 3月	08 8月	90 月不明
04 4月	09 9月	
05 5月	10 10月	

B 《発生曜日》

B－1 発生曜日

01 月曜日	04 木曜日	07 日曜日
02 火曜日	05 金曜日	90 不明
03 水曜日	06 土曜日	

B－2 曜日区分

01 平日
02 休日（祝祭日を含む）
90 不明

C 《発生時間帯》

01 0時～1時台	06 10時～11時台	11 20時～21時台
02 2時～3時台	07 12時～13時台	12 22時～23時台
03 4時～5時台	08 14時～15時台	90 不明
04 6時～7時台	09 16時～17時台	
05 8時～9時台	10 18時～19時台	

D 《発生場所》

0101 外来診察室	0500 分娩室	1200 放射線治療室
0102 外来待合室	0601 ICU	1300 透析室
0199 外来のその他の場所（ ）	0602 CCU	1400 薬局・輸血部
0200 救急処置室	0603 NICU	1500 栄養管理室・調理室
0301 ナースステーション	0699 その他の集中治療室（ ）	1600 トイレ
0302 病室	0700 検査室	1700 廊下
0303 処置室	0800 機能訓練室	1800 階段
0304 浴室	0900 IVR 治療室	9000 不明
0399 病棟のその他の場所（ ）	1000 放射線撮影室・検査室	9901 その他の場所（院内）（ ）
0400 手術室	1100 核医学検査室	9902 その他の場所（院外）（ ）

E《患者の性別》

01 男性
02 女性
88 患者複数
90 不明

F《患者の年齢》

000 0歳	010 10歳	100 100歳
001 1歳	011 11歳	101 101歳
002 2歳	・ ・	・ ・
・ ・	・ ・	150 150歳
・ ・	・ ・	888 患者複数
009 9歳	099 99歳	900 不明

G《患者の心身状態》（複数入力可）

0100 意識障害	0700 上肢障害	1300 薬剤の影響下
0200 視覚障害	0800 下肢障害	1400 麻酔中･麻酔前後
0300 聴覚障害	0900 歩行障害	7700 障害なし
0400 構音障害	1000 床上安静	9000 不明
0500 精神障害	1100 睡眠中	9900 その他 （ ）
0600 痴呆･健忘	1200 せん妄状態	

H《発見者》

01 当事者本人	04 患者本人	90 不明
02 同職種者	05 家族･付き添い	99 その他 （ ）
03 他職種者	06 他患者	

I《当事者の職種》（複数入力可）

01 医師	11 診療放射線技師	21 臨床心理士
02 歯科医師	12 臨床検査技師	22 社会福祉士
03 助産師	13 衛生検査技師	23 介護福祉士
04 看護師	14 理学療法士（PT）	24 臨床工学技士
05 准看護師	15 作業療法士（OT）	25 児童指導員･保育士
06 看護助手	16 言語聴覚士（ST）	26 事務職員
07 薬剤師	17 歯科衛生士	90 不明
08 管理栄養士	18 歯科技工士	99 その他 （ ）
09 栄養士	19 視能訓練士	
10 調理師･調理従事者	20 精神保健福祉士	

J《当事者の職種経験年数》

J－1　年数

000　0年	010　10年	100　100年
001　1年	011　11年	888　当事者複数
002　2年	・　・	900　年数不明
・　・	・　・	
・　・	・　・	
009　9年	099　99年	

J－2　月数

00　0ヶ月	05　5ヶ月	10　10ヶ月
01　1ヶ月	06　6ヶ月	11　11ヶ月
02　2ヶ月	07　7ヶ月	88　当事者複数
03　3ヶ月	08　8ヶ月	90　月数不明
04　4ヶ月	09　9ヶ月	

K《当事者の部署配属年数》

K－1　年数

000　0年	010　10年	100　100年
001　1年	011　11年	888　当事者複数
002　2年	・　・	900　年数不明
・　・	・　・	
・　・	・　・	
009　9年	099　99年	

K－2　月数

00　0ヶ月	05　5ヶ月	10　10ヶ月
01　1ヶ月	06　6ヶ月	11　11ヶ月
02　2ヶ月	07　7ヶ月	88　当事者複数
03　3ヶ月	08　8ヶ月	90　月数不明
04　4ヶ月	09　9ヶ月	

L 《ヒヤリ･ハットが発生した場面》

指示･情報伝達に関する項目

＜オーダー･指示出し＞
010100 オーダー･指示出し

＜情報伝達過程＞
020101 文書による指示受け
020102 口頭による指示受け
020199 その他の指示受け（　　）
020201 文書による申し送り
020202 口頭による申し送り
020299 その他の申し送り（　　）
029900 その他の情報伝達過程に関する場面（　　）

薬剤･輸血に関する項目

＜与薬準備＞
110100 与薬準備

＜処方･与薬＞
120101 皮下･筋肉注射
120102 静脈注射
120103 動脈注射
120104 末梢静脈点滴
120105 中心静脈注射
120200 内服
120300 外用
120400 坐剤用
120500 吸入
120600 点鼻･点眼･点耳
129900 その他の処方･与薬に関する場面（　　）

＜調剤･製剤管理等＞
130100 内服薬調剤･管理
130200 注射薬調剤･管理
130300 血液製剤管理
139900 その他（　　）

(＜与薬準備＞＜処方･与薬＞＜調剤･製剤管理等＞の項目を選択した場合、次の＜薬剤･製剤の種類＞から当てはまる項目を入力する)

＜薬剤･製剤の種類＞
140100 血液製剤
140200 麻薬
140300 抗腫瘍剤
140400 循環器用薬
140500 抗糖尿病薬
140600 抗不安剤
140700 睡眠導入剤
149900 その他の薬剤（　　）

＜輸血＞
150100 輸血検査
150200 放射線照射
150300 輸血実施
159900 その他（　　）

治療･処置に関する項目

＜手術＞
210101 開頭
210102 開胸
210103 開心
210104 開腹
210105 四肢
210106 鏡視下手術
210199 その他の手術（　　）
210200 術前準備
210300 術前処置
210400 術後処置
219900 その他の手術に関する場面（　　）

＜麻酔＞
220100 局所麻酔
220200 脊椎･硬膜外麻酔
220300 吸入麻酔
220400 静脈麻酔
220500 吸入麻酔＋静脈麻酔
229900 その他（　　）

＜出産･人工流産＞
230100 経膣分娩
230200 帝王切開
230300 医学的人工流産
239900 その他（　　）

＜その他の治療＞
240100 血液浄化療法
240200 IVR
240300 放射線治療
240400 ペインクリニック
240500 リハビリテーション
240600 観血的歯科治療
240700 非観血的歯科治療
249900 その他（　　）

＜処置＞
*一般的処置
･チューブ類の挿入
250101 中心静脈ライン
250102 末梢静脈ライン
250103 動脈ライン
250104 血液浄化用カテーテル
250105 栄養チューブ(NG･ED)
250106 尿道カテーテル
250199 その他のチューブ類の挿入（　　）
250200 ドレーンに関する処置
250300 創傷処置

*救急処置
250400 気管挿管
250500 気管切開
250600 心臓マッサージ
259900 その他の救急処置に関する場面（　　）

＜診察＞
260100 診察

L 《ヒヤリ･ハットが発生した場面》

医療医療用具（機器）、ドレーン･チューブ類、歯科医療用具（機器）･材料の使用･管理に関する項目

＜医療･用具（機器）の使用･管理＞
310100 人工呼吸器
310200 酸素療法機器
310300 麻酔器
310400 人工心肺
310500 除細動器
310600 IABP
310700 ペースメーカー
310800 輸液･輸注ポンプ
310900 血液浄化用機器
311000 インキュベーター
311100 内視鏡
311200 低圧持続吸引機
311300 心電図･血圧モニター
311400 パルスオキシメーター
319900 その他の医療用具（機器）の使用･管理に関する場面（　　）

＜ドレーン･チューブ類の使用･管理＞
320100 中心静脈ライン
320200 末梢静脈ライン
320300 動脈ライン
320400 気管チューブ
320500 気管カニューレ
320600 栄養チューブ（NG･ED）
320700 尿道カテーテル
320800 胸腔ドレーン
320900 腹腔ドレーン
321000 脳室･脳槽ドレーン
321100 皮下持続吸引ドレーン
321200 硬膜外カテーテル
321300 血液浄化用カテーテル･回路
321400 三方活栓
329900 その他のドレーン･チューブ類の使用･管理に関する場面（　　）

＜歯科医療用具（機器）･材料の使用･管理＞
330100 歯科用回転研削器具
330200 歯科用根管治療用器具
330300 歯科補綴物･充填物
339900 その他の歯科医療用具（機器）･材料の使用･管理に関する場面（　　）

検査に関する項目

＜検査＞
･検体採取
410101 採血
410102 採尿
410103 採便
410104 採痰
410105 穿刺液
410199 その他の検体採取（　　）

･生理検査
410201 超音波検査
410202 心電図検査
410203 トレッドミル検査
410204 マスター負荷心電図
410205 脳波検査
410206 筋電図検査
410207 肺機能検査
410299 その他の生理検査（　　）

･画像検査
410301 一般撮影
410302 ポータブル撮影
410303 CT
410304 MRI
410305 血管カテーテル撮影
410306 上部消化管撮影
410307 下部消化管撮影
410399 その他の画像検査（　　）

･内視鏡検査
410401 上部消化管
410402 下部消化管
410403 気管支鏡
410499 その他の内視鏡検査（　　）

･機能検査
410501 耳鼻科検査
410502 眼科検査
410503 歯科検査
410599 その他の機能検査（　　）

410600 検体検査
410700 血糖検査(病棟での)
410800 病理検査
410900 核医学検査
419900 その他の検査に関する場面（　　）

療養上の場面に関する項目

＜療養上の世話＞
510100 気管内･口腔内吸引
510200 体位交換
510300 清拭
510400 更衣介助
510500 食事介助
510600 入浴介助
510700 排泄介助
510800 ストーマケア
510900 移動介助
511000 搬送･移送
511100 体温管理
511200 患者周辺物品管理
511300 配膳
511400 患者観察
519900 その他の療養上の世話に関する場面（　　）

＜給食･栄養＞
520100 経口摂取
520200 経管栄養
529900 その他の給食･栄養に関する場面（　　）

＜その他の療養生活の場面＞
530100 散歩中
530200 外出･外泊中
530300 着替え中
530400 移動中
539900 その他の療養生活に関する場面（　　）

L 《ヒヤリ･ハットが発生した場面》

その他の場面に関する項目

＜物品搬送＞
610100 物品搬送

＜放射線管理＞
620100 放射線管理

＜診療情報管理＞
630101 医師･歯科医師記録
630102 看護記録
630199 その他の診療記録 （ ）
630200 画像データ管理
630300 検査データ管理
630400 検診データ管理
630500 検査･処置･与薬指示表
639900 その他の診療情報管理に関する場面
( )

＜患者･家族への説明＞
640100 患者･家族への説明

＜施設･設備＞
650100 施設･設備

＜その他＞
990000 その他 ( )

M 《ヒヤリ・ハットの内容》

＜オーダー・指示出し、情報伝達過程に関する項目＞

010100 指示出し・指示受け・情報伝達忘れ
010200 指示出し・情報伝達遅延
010300 指示出し・情報伝達不十分
010400 誤指示・情報伝達間違い
019900 指示出し・情報伝達のその他のエラー（　　）

＜診察、手術、麻酔、出産、その他の治療、処置に関する項目＞

020101 患者取り違え
020102 部位取り違え
020103 医療材料取り違え
020199 診察・治療・処置等のその他の取り違え（　　）
020200 方法（手技）の誤り
020300 未実施・忘れ
020400 中止・延期
020500 日程・時間の誤り
020600 順番の誤り
020700 不必要行為の実施
020800 消毒・清潔操作の誤り
020900 患者体位の誤り
029900 診察・治療等のその他のエラー（　　）
021001 誤飲
021002 誤嚥

＜処方・与薬＞

110100 処方量間違い
110201 過剰与薬
110202 過少与薬
110300 与薬時間・日付間違い
110400 重複与薬
110500 禁忌薬剤の組合せ
110601 投与速度速すぎ
110602 投与速度遅すぎ
110699 その他の投与速度のエラー（　　）
110700 患者間違い
110800 薬剤間違い
110900 単位間違い
111000 投与方法間違い
111100 無投薬
119900 処方・与薬のその他のエラー（　　）

＜調剤・製剤管理等＞

120100 処方箋・注射箋監査間違い
120201 秤量　間違い調剤
120202 数量　間違い調剤
120203 分包　間違い調剤
120204 規格　間違い調剤
120205 単位　間違い調剤
120206 薬剤取り違え調剤
120299 その他の調剤・製剤間違い（　　）
120301 説明文書の取り違え
120302 交付患者間違い
120303 薬剤・製剤の取り違え交付
120304 期限切れ製剤の交付
120305 ABO 型不適合製剤の交付
120306 その他の不適合製剤の交付（　）
120399 薬剤・血液製剤のその他の交付エラー（　　）

・薬剤・血液製剤管理
120401 異物混入
120402 細菌汚染
120403 破損
120404 混合間違い
120499 その他の薬剤・血液製剤管理（　　）
120500 薬袋・ボトルの記載間違い
120600 薬袋入れ間違い
120700 薬剤紛失
129900 調剤・製剤のその他のエラー（　　）

＜輸血＞

・輸血検査
130101 未実施
130102 検体取り違え
130103 クロスマッチ間違い
130104 結果記入・入力間違い
130199 輸血検査のその他のエラー（　　）

・血液製剤への放射線照射
130201 未実施・忘れ
130202 過剰照射
130300 患者取り違え輸血
130400 製剤取り違え輸血
139900 輸血のその他のエラー（　　）

＜医療・歯科医療用具（機器）の使用・管理＞

・医療・歯科医療用具（機器）の誤操作
140101 組立
140102 条件設定間違い
140103 設定忘れ・電源入れ忘れ
140199 その他の誤操作（　　）
140200 医療・歯科医療用具（機器）の不適切使用
140300 医療・歯科医療用具（機器）の誤作動
140400 医療・歯科医療用具（機器）の故障
140500 医療・歯科医療用具（機器）の修理ミス
140600 医療・歯科医療用具（機器）の破損
140700 医療・歯科医療用具（機器）の点検管理ミス
149900 その他の医療・歯科医療用具（機器）の使用・管理エラー（　　）

＜ドレーン・チューブ類の使用・管理＞

150100 点滴漏れ
150200 自己抜去
150300 自然抜去
150400 接続はずれ
150500 未接続
150600 閉塞
150700 破損・切断
150800 接続間違い
150900 三方活栓操作間違い
151000 ルートクランプエラー
151100 空気混入
159900 ドレーン・チューブ類のその他のエラー（　　）

M 《ヒヤリ･ハットの内容》

＜検査＞
160100 患者取り違え
160200 検査手技･判定技術の間違い
160300 検体採取時のミス
160400 検体取り違え
160500 検体紛失
160600 検体破損
160700 検体のコンタミネーション
160800 その他の検体管理･取扱い
( )
160900 試薬管理
161000 分析機器･器具管理
161100 検査機器･器具準備
161201 データ取り違え
161202 データ紛失
161299 その他のデータ管理のエラー
( )
161300 計算･入力･転記
161400 結果報告
169900 その他検査のエラー ( )

＜療養上の世話･療養生活の場面＞
170101 転倒
170102 転落
170103 衝突
170201 誤嚥
170202 誤飲
170300 誤配膳
170401 安静指示の不履行
170402 禁食指示の不履行
170499 その他指示の不履行
( )
･搬送･移送
170501 取り違え
170502 遅延
170503 忘れ
170504 搬送先間違い
170599 その他搬送･移送のエラー
( )
･自己管理薬
170601 飲み忘れ･注射忘れ
170602 摂取･注入量間違い
170603 取り違い摂取
170699 その他の自己管理薬のエラー
( )
170700 無断外出･外泊
179900 その他の療養上の世話･療養生活のエラー
( )

＜給食･栄養＞
180100 内容の間違い
180200 量の間違い
180300 中止の忘れ
180400 延食の忘れ
180500 異物混入
189900 その他給食･栄養のエラー
( )

＜物品搬送＞
190100 遅延
190200 忘れ
190300 搬送先間違い
190400 搬送中の破損
199900 その他の物品搬送のエラー
( )

＜放射線管理＞
200100 放射性物質の紛失
200200 放射線漏れ
209900 その他の放射線管理のエラー
( )

＜診療情報管理＞
210100 記録忘れ
210200 誤記録
210300 管理ミス
219900 その他の診療情報管理のエラー ( )

＜患者･家族への説明＞
220100 説明不十分
220200 説明間違い
229900 その他の患者･家族への説明のエラー ( )

＜施設･設備＞
230100 施設構造物･設備の破損
230200 施設･設備の管理ミス
239900 その他の施設･設備のエラー
( )

＜その他＞
990000 その他 ( )

N《ヒヤリ・ハットが発生した要因》

（複数入力可。ただし、医療用具（機器）・器具・医療材料、薬剤、諸物品は除く。）

当事者に関すること

＜確認＞
010100 確認が不十分であった
019900 その他（　　）

＜観察＞
020100 観察が不十分であった
029900 その他（　　）

＜判断＞
030100 判断に誤りがあった
039900 その他（　　）

＜知識＞
040100 知識が不足していた
040200 知識に誤りがあった
049900 その他（　　）

＜技術（手技）＞
050100 技術（手技）が未熟だった
050200 技術（手技）を誤った
059900 その他（　　）

＜報告等＞
060100 忘れた
060200 不十分であった
060300 間違いであった
060400 不適切であった
069900 その他（　　）

＜身体的状況＞
070100 寝不足だった
070200 体調が不良だった
070300 眠くなる薬を飲んでいた
079900 その他（　　）

＜心理的状況＞
080100 慌てていた
080200 イライラしていた
080300 緊張していた
080400 他のことに気を取られていた
080500 思いこんでいた
080600 無意識だった
089900 その他（　　）

当事者に影響を及ぼした環境等に関すること

＜システム＞
110100 連絡・報告システムの不備
110200 指示伝達システムの不備
110300 コンピュータシステムの不備
110400 作業マニュアルの不備
119900 その他（　　）

＜連携＞
120100 医師と看護職の連携不適切
120200 医師と技術職の連携不適切
120300 医師と事務職の連携不適切
120400 医師間の連携不適切
120500 看護職間の連携不適切
120600 技術職間の連携不適切
120700 多職種間の連携不適切
120800 歯科医師と歯科関連職の連携不適切
129900 その他（　　）

＜記録等の記載＞
130100 字が汚かった
130200 小さくて読みにくかった
130300 記載形式が統一されてなかった
130400 記載方法がわかりにくかった
130500 記載漏れ
139900 その他（　　）

＜患者の外見（容貌・年齢）・姓名の類似＞
140100 患者の外見（容貌・年齢）・姓名の類似

＜勤務状況＞
150100 多忙であった
150200 勤務の管理に不備
150300 作業が中断した
150400 当直だった
150500 当直明けだった
150600 夜勤だった
150700 夜勤明けだった
159900 その他（　　）

＜環境＞
160100 災害時だった
160200 緊急時だった
160300 コンピュータシステムがダウンしていた
160400 照明が暗かった
160500 床が濡れていた
169900 その他（　　）

医療・歯科医療用具（機器）・薬剤・設備等に関すること

＜医療・歯科医療用具（機器）・器具・医療材料＞
210100 欠陥品・不良品だった
210200 故障していた
210300 複数の規格が存在した
210400 扱いにくかった
210500 配置が悪かった
210600 数が不足していた
210700 管理が不十分だった
210800 機器誤作動
219900 その他（　　）

N 《ヒヤリ･ハットが発生した要因》

＜薬剤＞
220100 薬剤を入れる容器が似ていた
220200 薬剤の色や形態が似ていた
220300 薬剤名が似ていた
220400 複数の規格が存在した
220500 配置が悪かった
220600 管理が悪かった
220700 薬剤の性質上の問題
220800 薬効が似ていた
220900 薬剤の略号が似ていた
229900 その他（　　）

＜諸物品＞
230100 欠陥品･不良品だった
230200 故障していた
230300 複数の規格が存在した
230400 扱いにくかった
230500 配置が悪かった
230600 数が不足していた
230700 管理が不十分だった
239900 その他（　　）

＜施設･設備＞
･保守管理が不十分
240101 電気系統
240102 空調
240103 衛生設備
240104 通信設備
240105 昇降設備
240199 その他の保守管理に関する問題(　　)

240200 施設構造物に関する問題
249900 施設構造物以外で施設･設備に関するその他の問題(　　)

教育･訓練に関すること

＜教育･訓練＞
310100 教育･訓練が不十分だった
310200 マニュアルに不備があった
310300 カリキュラムに不備があった
319900 その他（　　）

説明･対応に関すること

＜患者･家族への説明＞
410100 説明が不十分であった
410200 説明に誤りがあった
410300患者･家族の理解が不十分であった
419900 その他（　　）

＜その他＞
990000 その他（　　）

O 《間違いの実施の有無及びヒヤリ･ハットの影響度》

間違いが実施前に発見された事例
0101 仮に実施されていても、患者への影響は小さかった（処置不要）と考えられる
0102 仮に実施されていた場合、患者への影響は中等度（処置が必要）と考えられる
0103 仮に実施されていた場合、身体への影響は大きい（生命に影響しうる）と考えられる

0200 間違いが実施されたが、患者に影響がなかった事例
9000 不明
9900 その他

P 《備考》

【別添4】

「全般コード化情報」コード選択ガイド

1 コード化して収集する情報一覧

＊コード一覧は「全般コード化情報」コード表をご参照ください。

A 《発生月》
B 《発生曜日》
C 《発生時間帯》
D 《発生場所》
E 《患者の性別》
F 《患者の年齢》
G 《患者の心身状態》
H 《発見者》
I 《当事者の職種》
J 《当事者の職種経験年数》
K 《当事者の部署配属年数》
L 《ヒヤリ・ハットが発生した場面に関する情報》
M 《ヒヤリ・ハットの内容に関する情報》
N 《ヒヤリ・ハットが発生した要因に関する情報》
O 《間違いの実施の有無及びヒヤリ・ハットの影響度》
P 《備考》

2 コードについて

1) コードの内容について

・ 本コードは、ヒヤリ・ハット事例に係る事項をコード化することを目的としており、患者に有害事象が生じるような事項はコード化されていません。
・ このため、例えば、薬剤の副作用などの項目は含まれていません。また、本コードには、職員の針刺し事故等に関する項目も含まれていません。

2) コード体系について

・ コードを用いて収集する情報は、アルファベットのAからOの15項目です。
・ 項目は今後、追加することはあっても削除することはないように作られています。コード番号が飛んでいるのは、後のコード追加を可能にするためです。

3) コード選択に係る留意点について

・ A《発生月》～O《影響度》又はP《備考》に、一つでも入力した場合には、A《発生月》～O《影響度》のすべてに入力を行ってください。入力内容が特定できない場合は、不明等を選択してください。
・ G《患者の心身の状態》、I《当事者の職種》及びN《ヒヤリ・ハットが発生した要因》の一部は複数のコード選択が可能です。
・ 適切なコードがない場合には、「その他」を選択し、具体的な内容を該当箇所に文字入力してください。（半角カタカナは使用しないでください。）（全角500文字以内）

参考：「その他」を含むコード

D《発生場所》　0199、0399、0699、9901、9902

G《患者の心身の状態》 9900

H《発見者》 99

I《当事者の職種》 99

L《ヒヤリ･ハットが発生した場面》

020199、020299、029900、129900、139900、149900、159900、210199、219900、229900、239900、249900、250199、259900、319900、329900、**339900**、410199、410299、410399、410499、410599、419900、519900、529900、539900、630199、639900、990000

M《ヒヤリ･ハットの内容》

019900、020199、029900、110699、119900、120299、120306、120399、120499、129900、130199、139900、140199、149900、159900、160800、161299、169900、170499、170599、170699、179900、189900、199900、209900、219900、229900、239900、990000

N《ヒヤリ･ハットが発生した要因》

019900、029900、039900、049900、059900、069900、079900、089900、119900、129900、139900、159900、169900、219900、229900、239900、240199、249900、319900、419900、990000

3．コード入力について

A《発生月》

- 発生月を選択してください。
- 発生した月が分からない場合は、「月不明」を選択してください。

01 1月	06 6月	11 11月
02 2月	07 7月	12 12月
03 3月	08 8月	90 月不明
04 4月	09 9月	
05 5月	10 10月	

B《発生曜日》

- 発生曜日を選択した上で、平日･休日の区別を選択してください。
- 発生した曜日が分からない場合は、「不明」を選択してください。

Ｂ－1 発生曜日

01 月曜日	04 木曜日	07 日曜日
02 火曜日	05 金曜日	90 不明
03 水曜日	06 土曜日	

Ｂ－２　曜日区分

01　平日
02　休日（祝祭日を含む）
90　不明

Ｃ（発生時間帯）

- 発生時間帯が明確でない場合は、推定時間を回答してください。
- 発生した時間帯が分からない場合は、「不明」を選択してください。

01　0時～1時台	06　10時～11時台	11　20時～21時台
02　2時～3時台	07　12時～13時台	12　22時～23時台
03　4時～5時台	08　14時～15時台	90　不明
04　6時～7時台	09　16時～17時台	
05　8時～9時台	10　18時～19時台	

Ｄ（発生場所）

- ヒヤリ・ハットが発生した場所（又は発生したと推定される場所）を選択してください。分からない場合は、「不明」を選択してください。
- 「その他」が含まれるコードを選択した場合は、可能な限り具体的な発生場所を該当箇所に文字入力（全角500文字以内）してください。

0101 外来診察室	0500 分娩室	1200 放射線治療室
0102 外来待合室	0601 ICU	1300 透析室
0199 外来のその他の場所	0602 CCU	1400 薬局・輸血部
（　　）	0603 NICU	1500 栄養管理室・調理室
0200 救急処置室	0699 その他の集中治療室	1600 トイレ
0301 ナースステーション	（　　）	1700 廊下
0302 病室	0700 検査室	1800 階段
0303 処置室	0800 機能訓練室	9000 不明
0304 浴室	0900 IVR治療室	9901 その他の場所（院内）
0399 病棟のその他の場所	1000 放射線撮影室・検査室	（　　）
（　　）	1100 核医学検査室	9002 その他の場所（院外）
0400 手術室		（　　）

Ｅ（患者の性別）

- 患者が複数存在する場合には、「患者複数」を選択してください。患者の性別が分からない場合は、「不明」を選択してください。

01　男性
02　女性
88　患者複数
90　不明

F（患者の年齢）

- １歳未満の場合は、「0歳」を選択してください。
- 患者が複数存在する場合には、「患者複数」を選択してください。年齢が分からない場合は、「不明」を選択してください。
- 入力画面では効率的な入力の観点から、「患者複数」、「不明」を最初に表示しています。

000　0歳	010　10歳	100　100歳
001　1歳	011　11歳	101　101歳
002　2歳	・　・	・　・
・　・	・　・	150　150歳
・　・	・　・	888　患者複数
009　9歳	099　99歳	900　不明

G（患者の心身状態）（複数入力可）

- 複数の項目に該当する場合には、複数の項目を選択してください。
- 「その他」を選択した場合は、具体的な心身状態を該当箇所に文字入力（全角500字）してください。

0100　意識障害	0700　上肢障害	1300　薬剤の影響下
0200　視覚障害	0800　下肢障害	1400　麻酔中・麻酔前後
0300　聴覚障害	0900　歩行障害	7700　障害なし
0400　構音障害	1000　床上安静	9000　不明
0500　精神障害	1100　睡眠中	9900　その他　（　　）
0600　痴呆・健忘	1200　せん妄状態	

H（発見者）

- 「その他」を選択した場合は、具体的な発見者を該当箇所に文字入力（全角500字）してください。

01　当事者本人	04　患者本人	90　不明
02　同職種者	05　家族・付き添い	99　その他　（　　）
03　他職種者	06　他患者	

Ⅰ（当事者の職種）（複数入力可）

・ 当事者とはヒヤリ･ハットに関わった人のことです。
・ ヒヤリ･ハットに関わった人が複数存在する場合には、該当職種を複数選択し入力してください。
・ 「その他」を選択した場合は、具体的な当事者を該当箇所に文字入力(全角500字)してください。

01 医師	11 診療放射線技師	21 臨床心理士
02 歯科医師	12 臨床検査技師	22 社会福祉士
03 助産師	13 衛生検査技師	23 介護福祉士
04 看護師	14 理学療法士（PT）	24 臨床工学技士
05 准看護師	15 作業療法士（OT）	25 児童指導員･保育士
06 看護助手	16 言語聴覚士（ST）	26 事務職員
07 薬剤師	17 歯科衛生士	90 不明
08 管理栄養士	18 歯科技工士	99 その他 （ ）
09 栄養士	19 視能訓練士	
10 調理師･調理従事者	20 精神保健福祉士	

Ｊ（当事者の職種経験年数）

・ 当事者の経験年数を選択してください。月の単位まで分かる場合は月数も選択し、月数が不明な場合は、「月数不明」選択してください。ただし、1年未満の場合は、必ず月数を入力してください。
・ 経験年数が分からない場合は、「年数不明」、勤務月数が分からない場合は、「月数不明」を選択してください。
・ 当事者が複数いる場合は、「当事者複数」を選択してください。

Ｊ－１ 年数

000 0年	010 １0年	100 １００年
001 1年	011 １1年	888 当事者複数
002 2年	・ ・	900 年数不明
・ ・	・ ・	
・ ・	・ ・	
009 9年	099 ９９年	

Ｊ－２ 月数

00 0ヶ月	05 5ヶ月	10 １0ヶ月
01 1ヶ月	06 6ヶ月	11 １1ヶ月
02 2ヶ月	07 7ヶ月	88 当事者複数
03 3ヶ月	08 8ヶ月	90 月数不明
04 4ヶ月	09 9ヶ月	

K（当事者の部署配属年数）

- 当事者がその部署に配属されてからの年数を選択してください。月の単位まで分かる場合は月数も選択し、月数が不明な場合は、「月数不明」選択してください。ただし、1年未満の場合は、必ず月数を入力してください。
- 部署配属年数が分からない場合は、「年数不明」、部署配属月数が分からない場合は、「月数不明」を選択してください。
- 当事者が複数いる場合は、年数・月数ともに「当事者複数」を選択してください。

K－1　年数

000　0年	010　10年	100　100年
001　1年	011　11年	888　当事者複数
002　2年	・　・	900　年数不明
・　・	・　・	
・　・	・　・	
009　9年	099　99年	

K－2　月数

00　0ヶ月	05　5ヶ月	10　10ヶ月
01　1ヶ月	06　6ヶ月	11　11ヶ月
02　2ヶ月	07　7ヶ月	88　当事者複数
03　3ヶ月	08　8ヶ月	90　月数不明
04　4ヶ月	09　9ヶ月	

L（ヒヤリ・ハットが発生した場面）

- 「ヒヤリ・ハットが発生した場面」では、何をしている場面でヒヤリ・ハットが発生したかについて回答してください。
- 該当する項目がない場合は、「その他」を選択し、具体的な内容を該当箇所に文字入力（全角500字）してください。
- 表の右側にある説明を参考にしてください。

指示･情報伝達に関する項目

＜オーダー･指示出し＞
010100 オーダー･指示出し

＜情報伝達過程＞
020101 文書による指示受け
020102 口頭による指示受け
020199 その他の指示受け（　　）
020201 文書による申し送り
020202 口頭による申し送り
020299 その他の申し送り（　　）
029900 その他の情報伝達過程に関する場面（　　）

薬剤･輸血に関する項目

＜与薬準備＞
110100 与薬準備

＜処方･与薬＞
120101 皮下･筋肉注射
120102 静脈注射
120103 動脈注射
120104 末梢静脈点滴
120105 中心静脈注射
120200 内服
120300 外用
120400 坐剤用
120500 吸入
120600 点鼻･点眼･点耳
129900 その他の処方･与薬に関する場面（　　）

＜調剤･製剤管理等＞
130100 内服薬調剤･管理
130200 注射薬調剤･管理
130300 血液製剤管理
139900 その他（　　）

（＜与薬準備＞＜処方･与薬＞＜調剤･製剤管理等＞の項目を選択した場合、次の＜薬剤･製剤の種類＞から当てはまる項目を入力する）

＜薬剤･製剤の種類＞
140100 血液製剤
140200 麻薬
140300 抗腫瘍剤
140400 循環器用薬
140500 抗糖尿病薬
140600 抗不安剤
140700 睡眠導入剤
149900 その他の薬剤（　　）

＜輸血＞
150100 輸血検査
150200 放射線照射
150300 輸血実施
159900 その他（　　）

＜オーダー･指示出し＞
各種のオーダーや指示を出す場面でヒヤリ･ハットが発生した場合に選択してください。ただし、薬剤の処方に関するオーダーの場合は、＜処方･与薬＞から選択してください。

＜情報伝達過程＞
指示を受けたり、申し送ったりする場面でヒヤリ･ハットが発生した場合に選択してください。

＜与薬準備＞
与薬の準備段階でヒヤリ･ハットが発生した場合に選択してください。
外来や病棟において、注射･点滴用薬剤等を混合する場面でヒヤリ･ハットが発生した場合も、この項目を選択してください。

＜処方･与薬＞
薬剤を処方したり、与薬を行ったりする場面でヒヤリ･ハットが発生した場合に選択してください。

＜調剤･製剤管理等＞
薬局や薬剤部において、注射･点滴用薬剤等を混合する場面でヒヤリ･ハットが発生した場合は、この項目を選択してください。

＜薬剤･製剤の種類＞
前項の＜与薬準備＞、＜処方･与薬＞、＜調剤･製剤管理等＞のいずれかの項目を選択した場合には、その薬剤･製剤の種類を選択してください。

L 《ヒヤリ･ハットが発生した場面》

治療･処置に関する項目

＜手術＞
210101 開頭
210102 開胸
210103 開心
210104 開腹
210105 四肢
210106 鏡視下手術
210199 その他の手術（　　）
210200 術前準備
210300 術前処置
210400 術後処置
219900 その他の手術に関する場面
（　　）

＜麻酔＞
220100 局所麻酔
220200 脊椎･硬膜外麻酔
220300 吸入麻酔
220400 静脈麻酔
220500 吸入麻酔＋静脈麻酔
229900 その他（　　）

＜出産･人工流産＞
230100 経膣分娩
230200 帝王切開
230300 医学的人工流産
239900 その他（　　）

＜その他の治療＞
240100 血液浄化療法
240200 IVR
240300 放射線治療
240400 ペインクリニック
240500 リハビリテーション
240600 観血的歯科治療
240700 非観血的歯科治療
249900 その他（　　）

＜処置＞
*一般的処置
･チューブ類の挿入
250101 中心静脈ライン
250102 末梢静脈ライン
250103 動脈ライン
250104 血液浄化用カテーテル
250105 栄養チューブ(NG･ED)
250106 尿道カテーテル
250199 その他のチューブ類の挿入(　　)
250200 ドレーンに関する処置
250300 創傷処置

*救急処置
250400 気管挿管
250500 気管切開
250600 心臓マッサージ
259900 その他の救急処置に関する場面
（　　）

＜診察＞
260100 診察

＜手術＞
術前の準備や処置、手術中及び術後処置の段階でヒヤリ･ハットが発生した場合に選択してください（ここでいう「術後処置」とは、「手術に引き続いて手術室内で行われる処置」を意味しています）。

＜麻酔＞
吸入麻酔薬と静脈麻酔薬を併用している場面でのヒヤリ･ハットの場合は、「220500 吸入麻酔薬＋静脈麻酔薬」を選択してください。

L 《ヒヤリ･ハットが発生した場面》

医療用具（機器）、ドレーン･チューブ類、歯科医療用具（機器）材料の使用･管理に関する項目

＜医療用具（機器）の使用･管理＞
- 310100 人工呼吸器
- 310200 酸素療法機器
- 310300 麻酔器
- 310400 人工心肺
- 310500 除細動器
- 310600 IABP
- 310700 ペースメーカー
- 310800 輸液･輸注ポンプ
- 310900 血液浄化用機器
- 311000 インキュベーター
- 311100 内視鏡
- 311200 低圧持続吸引機
- 311300 心電図･血圧モニター
- 311400 パルスオキシメーター
- 319900 その他の医療用具（機器）の使用･管理に関する場面（　　）

＜ドレーン･チューブ類の使用･管理＞
- 320100 中心静脈ライン
- 320200 末梢静脈ライン
- 320300 動脈ライン
- 320400 気管チューブ
- 320500 気管カニューレ
- 320600 栄養チューブ（NG･ED）
- 320700 尿道カテーテル
- 320800 胸腔ドレーン
- 320900 腹腔ドレーン
- 321000 脳室･脳槽ドレーン
- 321100 皮下持続吸引ドレーン
- 321200 硬膜外カテーテル
- 321300 血液浄化用カテーテル･回路
- 321400 三方活栓
- 329900 その他のドレーン･チューブ類の使用･管理に関する場面（　　）

＜歯科医療用具（機器）･材料の使用･管理＞
- 330100 歯科用回転研削器具
- 330200 歯科用根管治療用器具
- 330300 歯科補綴物･充填物
- 339900 その他の歯科医療用具（機器）･材料の使用･管理に関する場面（　　）

検査に関する項目

＜検査＞

･検体採取
- 410101 採血
- 410102 採尿
- 410103 採便
- 410104 採痰
- 410105 穿刺液
- 410199 その他の検体採取（　　）

「310200 酸素療法機器」には高圧酸素療法機器も含みます。

「321100 皮下持続吸引ドレーン」は体腔以外の部位からのドレナージを目的とした持続吸引ドレーンのことです（例：乳がん術後などに用いるドレーン）。

L 《ヒヤリ･ハットが発生した場面》

･生理検査
410201 超音波検査
410202 心電図検査
410203 トレッドミル検査
410204 マスター負荷心電図
410205 脳波検査
410206 筋電図検査
410207 肺機能検査
410299 その他の生理検査（　　）

･画像検査
410301 一般撮影
410302 ポータブル撮影
410303 CT
410304 MRI
410305 血管カテーテル撮影
410306 上部消化管撮影
410307 下部消化管撮影
410399 その他の画像検査（　　）

･内視鏡検査
410401 上部消化管
410402 下部消化管
410403 気管支鏡
410499 その他の内視鏡検査（　　）

･機能検査
410501 耳鼻科検査
410502 眼科検査
410503 歯科検査
410599 その他の機能検査（　　）

410600 検体検査
410700 血糖検査(病棟での)
410800 病理検査
410900 核医学検査
419900 その他の検査に関する場面（　　）

療養上の場面に関する項目

＜療養上の世話＞
510100 気管内･口腔内吸引
510200 体位交換
510300 清拭
510400 更衣介助
510500 食事介助
510600 入浴介助
510700 排泄介助
510800 ストーマケア
510900 移動介助
511000 搬送･移送
511100 体温管理
511200 患者周辺物品管理
511300 配膳
511400 患者観察
519900 その他の療養上の世話に関する場面
（　　）

＜給食･栄養＞
520100 経口摂取
520200 経管栄養
529900 その他の給食･栄養に関する場面
（　　）

＜その他の療養生活の場面＞
530100 散歩中
530200 外出･外泊中
530300 着替え中
530400 移動中
539900 その他の療養生活に関する
場面（　　）

＜その他の療養生活の場面＞
患者さんが療養生活を送っている場面でヒヤリ･ハットが発生した場合に選択してください。

L 《ヒヤリ･ハットが発生した場面》

その他の場面に関する項目

＜物品搬送＞
610100 物品搬送

＜放射線管理＞
620100 放射線管理

＜診療情報管理＞
630101 医師･歯科医師記録
630102 看護記録
630199 その他の診療記録 （ ）
630200 画像データ管理
630300 検査データ管理
630400 検診データ管理
630500 検査･処置･与薬指示表
639900 その他の診療情報管理に関する場面
( )

＜患者･家族への説明＞
640100 患者･家族への説明

＜施設･設備＞
650100 施設･設備

＜その他＞
990000 その他 （ ）

M（ヒヤリ・ハットの内容）

・「ヒヤリ・ハットの内容」では、ヒヤリ・ハットの具体的な内容を選択してください。
・「M　ヒヤリ・ハットの内容」の各項目は、「L　ヒヤリ・ハットが発生した場面」の項目に対応しています。表の右側に、対応する「L　ヒヤリ・ハットが発生した場面」の項目を示していますので、参考にしてください。
・ 該当する項目がない場合は、「その他」を選択し、具体的な内容を該当箇所に文字入力（全角500字）してください。

M《ヒヤリ・ハットの内容》	対応する「L　ヒヤリ・ハットが発生した場面」の項目
＜オーダー・指示出し、情報伝達過程に関する項目＞ 010100 指示出し・指示受け・情報伝達忘れ 010200 指示出し・情報伝達遅延 010300 指示出し・情報伝達不十分 010400 誤指示・情報伝達間違い 019900 指示出し・情報伝達のその他のエラー	＜オーダー・指示出し＞ ＜情報伝達過程＞
＜診察、手術、麻酔、出産、その他の治療、処置に関する項目＞ 020101 患者取り違え 020102 部位取り違え 020103 医療材料取り違え 020199 診察・治療・処置等のその他の取り違え 020200 方法（手技）の誤り 020300 未実施・忘れ 020400 中止・延期 020500 日程・時間の誤り 020600 順番の誤り 020700 不必要行為の実施 020800 消毒・清潔操作の誤り 020900 患者体位の誤り 029900 診察・治療等のその他のエラー 021001 誤飲 021002 誤嚥	＜手術＞ ＜出産・人工流産＞ ＜その他の治療＞ ＜処置＞ ＜診察＞
＜処方・与薬＞ 110100 処方量間違い 110201 過剰与薬 110202 過少与薬 110300 与薬時間・日付間違い 110400 重複与薬 110500 禁忌薬剤の組合せ 110601 投与速度速すぎ 110602 投与速度遅すぎ 110699 その他の投与速度のエラー 110700 患者間違い 110800 薬剤間違い 110900 単位間違い 111000 投与方法間違い 111100 無投薬 119900 処方・与薬のその他のエラー	＜与薬準備＞ ＜処方・与薬＞

M 《ヒヤリ･ハットの内容》

対応する「L ヒヤリ･ハットが発生した場面」の項目

＜調剤･製剤管理等＞
120100 処方箋･注射箋監査間違い
120201 秤量 間違い調剤
120202 数量 間違い調剤
120203 分包 間違い調剤
120204 規格 間違い調剤
120205 単位 間違い調剤
120206 薬剤取り違え調剤
120299 その他の調剤･製剤間違い( )

120301 説明文書の取り違え
120302 交付患者間違い
120303 薬剤･製剤の取り違え交付
120304 期限切れ製剤の交付
120305 ABO 型不適合製剤の交付
120306 その他の不適合製剤の交付( )
120399 薬剤･血液製剤のその他の交付エラー ( )

･薬剤･血液製剤管理
120401 異物混入
120402 細菌汚染
120403 破損
120404 混合間違い
120499 その他の薬剤･血液製剤管理( )
120500 薬袋･ボトルの記載間違い
120600 薬袋入れ間違い
120700 薬剤紛失
129900 調剤･製剤のその他のエラー( )

＜輸血＞
･輸血検査
130101 未実施
130102 検体取り違え
130103 クロスマッチ間違い
130104 結果記入･入力間違い
130199 輸血検査のその他のエラー( )
･血液製剤への放射線照射
130201 未実施･忘れ
130202 過剰照射
130300 患者取り違え輸血
130400 製剤取り違え輸血
139900 輸血のその他のエラー( )

＜医療･歯科医療用具(機器)の使用･管理＞
･医療･歯科医療用具(機器)の誤操作
140101 組立
140102 条件設定間違い
140103 設定忘れ･電源入れ忘れ
140199 その他の誤操作 ( )
140200 医療･歯科医療用具(機器)の不適切使用
140300 医療･歯科医療用具(機器)の誤作動
140400 医療･歯科医療用具(機器)の故障
140500 医療･歯科医療用具(機器)の修理ミス
140600 医療･歯科医療用具(機器)の破損
140700 用具(機器)の点検管理ミス
149900 その他の医療用具(機器)の使用･管理エラー( )

＜調剤･製剤管理等＞

＜輸血＞

＜医療機器等の使用･管理＞

M 《ヒヤリ･ハットの内容》

＜ドレーン･チューブ類の使用･管理＞
150100 点滴漏れ
150200 自己抜去
150300 自然抜去
150400 接続はずれ
150500 未接続
150600 閉塞
150700 破損･切断
150800 接続間違い
150900 三方活栓操作間違い
151000 ルートクランプエラー
151100 空気混入
159900 ドレーン･チューブ類のその他のエラー（　　）

＜検査＞
160100 患者取り違え
160200 検査手技･判定技術の間違い
160300 検体採取時のミス
160400 検体取り違え
160500 検体紛失
160600 検体破損
160700 検体のコンタミネーション
160800 その他の検体管理･取扱い（　　）
160900 試薬管理
161000 分析機器･器具管理
161100 検査機器･器具準備
161201 データ取り違え
161202 データ紛失
161299 その他のデータ管理のエラー（　　）
161300 計算･入力･転記
161400 結果報告
169900 その他検査のエラー（　　）

＜療養上の世話･療養生活の場面＞
170101 転倒
170102 転落
170103 衝突
170201 誤嚥
170202 誤飲
170300 誤配膳
170401 安静指示の不履行
170402 禁食指示の不履行
170499 その他指示の不履行（　　）
･搬送･移送
170501 取り違え
170502 遅延
170503 忘れ
170504 搬送先間違い
170599 その他搬送･移送のエラー（　　）
･自己管理薬
170601 飲み忘れ･注射忘れ
170602 摂取･注入量間違い
170603 取り違い摂取
170699 その他の自己管理薬のエラー（　　）
170700 無断外出･外泊
179900 その他の療養上の世話･療養生活のエラー（　　）

対応する「L　ヒヤリ･ハットが発生した場面」の項目

＜ドレーン･チューブ類の使用･管理＞

＜検査＞

＜療養上の世話＞
＜その他の療養生活の場面＞

M 《ヒヤリ･ハットの内容》

対応する「L ヒヤリ･ハットが発生した場面」の項目

＜給食･栄養＞
180100 内容の間違い
180200 量の間違い
180300 中止の忘れ
180400 延食の忘れ
180500 異物混入
189900 その他給食･栄養のエラー
（　　）

＜物品搬送＞
190100 遅延
190200 忘れ
190300 搬送先間違い
190400 搬送中の破損
199900 その他の物品搬送のエラー
（　　）

＜放射線管理＞
200100 放射性物質の紛失
200200 放射線漏れ
209900 その他の放射線管理のエラー
（　　）

＜診療情報管理＞
210100 記録忘れ
210200 誤記録
210300 管理ミス
219900 その他の診療情報管理の
エラー（　　）

＜患者･家族への説明＞
220100 説明不十分
220200 説明間違い
229900 その他の患者･家族への説明
のエラー（　　）

＜施設･設備＞
230100 施設構造物･設備の破損
230200 施設･設備の管理ミス
239900 その他の施設･設備のエラー
（　　）

＜その他＞
990000 その他（　　）

＜給食･栄養＞

＜物品搬送＞

＜放射線管理＞

＜診療情報管理＞

＜患者･家族への説明＞

＜施設･設備＞

N（ヒヤリ･ハットが発生した要因）

- 「N ヒヤリ･ハットが発生した要因」では、当該ヒヤリ･ハットの原因となった事項について、該当する項目を選択してください。
- 要因は以下の項目に分かれています。
  1）当事者に関すること
  2）事者に影響を及ぼした環境等に関すること
  3）医療･歯科医療用具（機器）、薬剤、設備等に関すること
  4）教育･訓練に関すること
  5）説明･対応に関すること
  6）その他
- 複数の要因が考えられる場合には、複数の項目を選択してください（ただし、医療用具（機器）、薬剤、諸物品に関する項目については、各項目から1つだけ選択してください）。
- 該当する項目がない場合は「その他」を選択し、具体的な内容を該当箇所に文字入力（全角500字）してください。

N 《ヒヤリ･ハットが発生した要因》

当事者に関すること

＜確認＞
010100 確認が不十分であった
019900 その他（　　）

＜観察＞
020100 観察が不十分であった
029900 その他（　　）

＜判断＞
030100 判断に誤りがあった
039900 その他（　　）

＜知識＞
040100 知識が不足していた
040200 知識に誤りがあった
049900 その他（　　）

＜技術（手技）＞
050100 技術（手技）が未熟だった
050200 技術（手技）を誤った
059900 その他（　　）

＜報告等＞
060100 忘れた
060200 不十分であった
060300 間違いであった
060400 不適切であった
069900 その他（　　）

＜身体的状況＞
070100 寝不足だった
070200 体調が不良だった
070300 眠くなる薬を飲んでいた
079900 その他（　　）

＜心理的状況＞
080100 慌てていた
080200 イライラしていた
080300 緊張していた
080400 他のことに気を取られていた
080500 思いこんでいた
080600 無意識だった
089900 その他（　　）

当事者に影響を及ぼした環境等に関すること

＜システム＞
110100 連絡･報告システムの不備
110200 指示伝達システムの不備
110300 コンピュータシステムの不備
110400 作業マニュアルの不備
119900 その他（　　）

＜連携＞
120100 医師と看護職の連携不適切
120200 医師と技術職の連携不適切
120300 医師と事務職の連携不適切
120400 医師間の連携不適切
120500 看護職間の連携不適切
120600 技術職間の連携不適切
120700 多職種間の連携不適切
129900 その他（　　）
120800 歯科医師と歯科関連職の連携不適切

＜記録等の記載＞
130100 字が汚かった
130200 小さくて読みにくかった
130300 記載形式が統一されてなかった
130400 記載方法がわかりにくかった
130500 記載漏れ
139900 その他（　　）

＜患者の外見（容貌･年齢）･姓名の類似＞
140100 患者の外見（容貌･年齢）･姓名の類似

＜勤務状況＞
150100 多忙であった
150200 勤務の管理に不備
150300 作業が中断した
150400 当直だった
150500 当直明けだった
150600 夜勤だった
150700 夜勤明けだった
159900 その他（　　）

＜環境＞
160100 災害時だった
160200 緊急時だった
160300 コンピュータシステムがダウンしていた
160400 照明が暗かった
160500 床が濡れていた
169900 その他（　　）

医療･歯科医療用具（機器）･薬剤･設備等に関すること

＜医療･歯科医療用具（機器）･器具･医療材料＞
210100 欠陥品･不良品だった
210200 故障していた
210300 複数の規格が存在した
210400 扱いにくかった
210500 配置が悪かった
210600 数が不足していた
210700 管理が不十分だった
210800 機器誤作動
219900 その他（　　）

N 《ヒヤリ･ハットが発生した要因》

＜薬剤＞
220100 薬剤を入れる容器が似ていた
220200 薬剤の色や形態が似ていた
220300 薬剤名が似ていた
220400 複数の規格が存在した
220500 配置が悪かった
220600 管理が悪かった
220700 薬剤の性質上の問題
220800 薬効が似ていた
220900 薬剤の略号が似ていた
229900 その他（　　）

＜諸物品＞
230100 欠陥品･不良品だった
230200 故障していた
230300 複数の規格が存在した
230400 扱いにくかった
230500 配置が悪かった
230600 数が不足していた
230700 管理が不十分だった
239900 その他（　　）

＜施設･設備＞
･保守管理が不十分
240101 電気系統
240102 空調
240103 衛生設備
240104 通信設備
240105 昇降設備
240199 その他の保守管理に関する問題(　　)

240200 施設構造物に関する問題
249900 施設構造物以外で施設･設備に関するその他の問題(　　)

教育･訓練に関すること

＜教育･訓練＞
310100 教育･訓練が不十分だった
310200 マニュアルに不備があった
310300 カリキュラムに不備があった
319900 その他（　　）

説明･対応に関すること

＜患者･家族への説明＞
410100 説明が不十分であった
410200 説明に誤りがあった
410300患者･家族の理解が不十分であった
419900 その他（　　）

＜その他＞
990000 その他（　　）

O 〈間違いの実施の有無及びヒヤリ・ハットの影響度〉

- この項目は、間違いが患者に実施されたか否かについて回答してください。さらに、間違いが実施前に発見された場合には、仮に実施されていたとしたら患者にどの程度の影響があったと想定されるかについて選択して回答してください。
- 患者に対する行為を伴わなかった事例の場合には、「9900 その他」を選択してください。

間違いが実施前に発見された事例
0101 仮に実施されていても、患者への影響は小さかった（処置不要）と考えられる
0102 仮に実施されていた場合、患者への影響は中等度（処置が必要）と考えられる
0103 仮に実施されていた場合、身体への影響は大きい（生命に影響しうる）と考えられる
0200 間違いが実施されたが、患者に影響がなかった事例
9000 不明
9900 その他

P 〈備考〉

- ヒヤリ・ハットの報告に際して、コード選択と「その他」欄への入力だけでは不十分な場合、備考欄に文字入力（全角500字）してください。

【別添５】

ヒヤリ・ハット事例収集事業参加登録申請書

財団法人日本医療機能評価機構

理事長　坪井栄孝　殿

下記のとおり、ヒヤリ・ハット事例収集事業への参加登録を申請いたします。

平成　　年　　月　　日

医療機関名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

施設長名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿印

記

医療機関名 （施設分類）	（国・都道府県・法人・個人・診療所・その他）
所在地	〒
電話番号	
Ｆａｘ番号	
ｅ－ｍａｉｌアドレス	
報告責任者 （所属・職名）	
担当者 （所属・職名）	
報告方式の選択	Web 方式・指定フォーマット（CSV）方式

財団法人日本医療機能評価機構
ヒヤリ・ハット事例収集事業担当係

101-0062　東京都千代田区神田駿河台 3-11　三井住友海上駿河台別館ﾋﾞﾙ　7F
TEL: 03-5217-0251（直通）　FAX: 03-5217-0253（直通）

【別添６】

ヒヤリ・ハット事例収集事業　受付 ID 等再交付・登録事項変更申請書

財団法人日本医療機能評価機構

理 事 長　　坪 井 栄 孝 殿

下記のとおり、ヒヤリ・ハット事例収集事業に関する（受付 ID 及び確認コードの再交付・登録事項の変更）を申請いたします。

平成　　年　　月　　日

医療機関名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

施設長名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　印

記

申　請　事　由	紛失・担当者変更・登録内容変更・その他
上　記　の　詳　細	
所　在　地　※	〒
電　話　番　号　※	
Ｆ　ａ　ｘ　番　号　※	
ｅ－ｍａｉｌ アドレス※	
報　告　責　任　者　※ （ 所 属 ・ 職 名 ）	
担　当　者　※ （ 所 属 ・ 職 名 ）	
報 告 方 式 の 選 択 ※	Web 方式・指定フォーマット（CSV）方式

※については変更があるときのみ記入

Japan Council for Quality Health Care

財団法人日本医療機能評価機構
ヒヤリ・ハット事例収集事業担当係

101-0062　東京都千代田区神田駿河台 3-11　三井住友海上駿河台別館ﾋﾞﾙ　7F
TEL: 03-5217-0251（直通）　FAX: 03-5217-0253（直通）

【別添７】

ヒヤリ・ハット事例収集事業への参加登録抹消届

財団法人日本医療機能評価機構

理 事 長　　坪 井 栄 孝 殿

下記のとおり、ヒヤリ・ハット事例収集事業への参加登録の抹消を届出いたします。

平成　　年　　月

施設長名　　印

記

医 療 機 関 名	
報 告 責 任 者 （ 所 属 ・ 職 名 ）	
担 当 者 （ 所 属 ・ 職 名 ）	
住 所	〒
電 話 番 号	
登 録 抹 消 理 由	

財団法人日本医療機能評価機構
ヒヤリ・ハット事例収集事業担当係
101-0062　東京都千代田区神田駿河台 3-11　三井住友海上駿河台別館ﾋﾞﾙ　7F
TEL: 03-5217-0251（直通）　FAX: 03-5217-0253（直通）

【別添8】

ヒヤリ・ハット事例収集事業
指定フォーマット（CSV形式ファイル）について

ヒヤリ・ハット事例収集事業における指定フォーマット（CSV形式ファイル）は以下のとおりです。

注意点

1. 作成に当たっては「全般コード化情報」コード表及び「記述情報」コード・記述項目表を参照してください。
2. 各フィールド（カラム）に入るコードは「全般コード化情報」コード表及び「記述情報」コード・記述項目表並びに「下表」を参照してください。
3. コードは決められた桁数で入力してください。（例：「010101」（6桁）を「10101」（5桁）にしないこと）
4. 1事例は254フィールド（カラム）です。
5. フィールド（カラム）内はダブルコーテーション（""）で囲み、半角カンマ（,）で区切ります。
   ［例；"","","","","","","01","02","01","08","0300","","01","54","","","思い込みがあった","""・・・］
6. 「全般コード化情報」コード表の「その他」等であって記述入力する場合（*印）は、全角のみで入力してください。（半角カタカナは絶対　使用しないでください。）
   a. 入力時の文字は、日本語（Shift_JIS）コードを使用してください。
   b. 記述入力する場合は、データ内に「改行」がある場合は「¥n」に置き換えて報告してください。
   c. 記述入力する場合は、データ内に「¥」がある場合は「¥¥」と2つ重ねて報告してください。
   d. 「その他」の内容を記述入力する際は、「その他」コードを選択した上で入力してください。
7. 入力条件
   a. 「入力条件」は、各フィールドに入力する際の「コード入力」や「記述入力」に関する仕様です。
   b. 入力条件に固定値の設定がある場合は、当該文字を入力してください。
      ・ フィールド番号3：「全般コード化情報」のみ及び「全般コード化情報+記述情報」の報告の場合は「1」、「記述情報」のみの報告の場合は「2」（半角数字）
      ・ フィールド番号4：「全般コード化情報」のみ及び「全般コード化情報+記述情報」、及び「記述情報」のみの報告のいずれの場合も「ISEI」（半角英字）
      ・ フィールド番号5：「全般コード化情報」のみ及び「全般コード化情報+記述情報」、及び「記述情報」のみの報告のいずれの場合も「4」（半角数字）
   c. 「ブランク」は、入力があるとエラー扱いとされます。
   d. 「任意」はどのような入力もできるので、自由に使用してください。（半角カタカナは絶対使用しないでください）
   e. 「必須」は、入力がない場合にはエラー扱いとなります。
   f. 「使用せず」は、内容の如何に関わらず、無視されます。
   g. 「＊記述」は、文字を入力してください。（注意点7．参照）
   h. 「＊条件必須」は、他のフィールドである特定のコードを選択した場合、必ず選択することを示します。（フィールド番号69参照）

      ＜与薬準備＞＜処方・与薬＞＜調剤・製剤管理等＞の項目を選択した場合、コード表の＜薬剤・製剤の種類＞から当てはまる項目コード（140100～140700,149900）から選択して入力してください。

   i. 「選択必須」は、指定されたフィールドの範囲で、1つ以上入力がない場合にはエラー扱いとなります。（例：フィールド番号14～30）
   j. 「＊セットで記述」は、指定されたフィールドの範囲すべてに入力がない場合はエラー扱いとなります。

フィールド番号	参考excelセル名	コード表等の項目名等		設定方法・選択コード		入力条件		
						全般コード化情報のみ報告の場合	「全般コード化情報」+「記述情報」の報告の場合	記述情報のみの報告の場合（新フォーマット）
1	A	リザーブ：システムで使用するため空けておいてください(返却時に受理番号が記入されます)				ブランク	ブランク	ブランク
2	B	20文字以内で、施設内での識別子を入力可能です				任意	任意	任意
3	C	コード・記述区分				1	1	2
4	D	固定（ファイル識別子）				ISEI	ISEI	ISEI
5	E	固定（バージョン）				4	4	4
6	F	A《発生月》		コード表から選択		必須	必須	ブランク
7	G	B《発生曜日》	B-1発生曜日	コード表から選択		必須	必須	必須
8	H		B-2曜日区分	コード表から選択		必須	必須	必須
9	I	C《発生時間帯》		コード表から選択		必須	必須	必須
10	J	D《発生場所》		コード表から選択		必須	必須	必須
11	K			「その他」を選択した場合の内容		*記述	*記述	*記述
12	L	E《患者の性別》		コード表から選択		必須	必須	ブランク
13	M	F《患者の年齢》		コード表から選択		必須	必須	ブランク
14	N	G《患者の心身状態》		選択必須（複数選択可）	0100：意識障害	選択必須	選択必須	選択必須
15	O				0200：視覚障害			
16	P				0300：聴覚障害			
17	Q				0400：構音障害			
18	R				0500：精神障害			
19	S				0600：痴呆・健忘			
20	T				0700：上肢障害			
21	U				0800：下肢障害			
22	V				0900：歩行障害			
23	W				1000：床上安静			
24	X				1100：睡眠中			
25	Y				1200：せん妄状態			
26	Z				1300：薬剤の影響下			
27	AA				1400：麻酔中・麻酔前後			
28	AB				7700：障害なし			
29	AC				9000：不明			
30	AD				9900：その他			
31	AE			「その他」を選択した場合の内容		*記述	*記述	*記述
32	AF	H《発見者》		コード表から選択		必須	必須	ブランク
33	AG			「その他99」を選択した場合の内容		*記述	*記述	ブランク
34	AH	I《当事者の職種》		選択必須（複数選択可）	01：医師	選択必須	選択必須	選択必須
35	AI				02：歯科医師			
36	AJ				03：助産師			
37	AK				04：看護師			
38	AL				05：准看護師			
39	AM				06：看護助手			
40	AN				07：薬剤師			
41	AO				08：管理栄養士			
42	AP				09：栄養士			
43	AQ				10：調理師・調理従事者			
44	AR				11：診療放射線技師			
45	AS				12：臨床検査技師			
46	AT				13：衛生検査技師			
47	AU				14：理学療法士（PT）			
48	AV				15：作業療法士（OT）			
49	AW				16：言語聴覚士（ST）			
50	AX				17：歯科衛生士			
51	AY				18：歯科技工士			
52	AZ				19：視能訓練士			
53	BA				20：精神保健福祉士			
54	BB				21：臨床心理士			
55	BC				22：社会福祉士			
56	BD				23：介護福祉士			
57	BE				24：臨床工学技士			
58	BF				25：児童指導員・保育士			
59	BG				26：事務職員			
60	BH				90：不明			
61	BI				99：その他			
62	BJ			「その他」を選択した場合の内容		*記述	*記述	*記述

63	BK	J《当事者の職種経験年数》	J-1年数	コード表から選択		必須	必須	必須
64	BL		J-2月数	コード表から選択		必須	必須	必須
65	BM	K《当事者の部署配属年数》	K-1年数	コード表から選択		必須	必須	必須
66	BN		K-2月数	コード表から選択		必須	必須	必須
67	BO	L《ヒヤリ・ハットが発生した場面》		コード表から選択		必須	必須	ブランク
68	BP			「その他」を選択した場合の内容		*記述	*記述	ブランク
69	BQ			条件必須	コード（140100～140700,149900）から選択	条件必須	条件必須	ブランク
70	BR				「その他」を選択した場合の内容	*記述	*記述	ブランク
71	BS	予備：将来使用予定のため空けておいてください				ブランク	ブランク	ブランク
72	BT	予備：将来使用予定のため空けておいてください				ブランク	ブランク	ブランク
73	BU	予備：将来使用予定のため空けておいてください				ブランク	ブランク	ブランク
74	BV	予備：将来使用予定のため空けておいてください				ブランク	ブランク	ブランク
75	BW	予備：将来使用予定のため空けておいてください				ブランク	ブランク	ブランク
76	BX	予備：将来使用予定のため空けておいてください				ブランク	ブランク	ブランク
77	BY	予備：将来使用予定のため空けておいてください				ブランク	ブランク	ブランク
78	BZ	予備：将来使用予定のため空けておいてください				ブランク	ブランク	ブランク
79	CA	M《ヒヤリ・ハットの内容》		コード表から選択		必須	必須	ブランク
80	CB			「その他」を選択した場合の内容		*記述	*記述	ブランク
81	CC	N《ヒヤリ・ハットが発生した要因》		連携	120800：歯科医師と歯科関連色の連携不適切			ブランク
82	CD	予備：将来使用予定のため空けておいてください				ブランク	ブランク	ブランク
83	CE	予備：将来使用予定のため空けておいてください				ブランク	ブランク	ブランク
84	CF	予備：将来使用予定のため空けておいてください				ブランク	ブランク	ブランク
85	CG	N《ヒヤリ・ハットが発生した要因》	当事者に関すること	確認	010100：確認が不十分であった	N ヒヤリ・ハットが発生した要因（85カラム～190カラム）の中から選択必須（複数選択可） ※ただし、147～155,156～165,166～173はそれぞれの範囲内で1つのみ選択	N ヒヤリ・ハットが発生した要因（85カラム～190カラム）の中から選択必須（複数選択可） ※ただし、147～155,156～165,166～173はそれぞれの範囲内で1つのみ選択	ブランク
86	CH				019900：その他			ブランク
87	CI			観察	020100：観察が不十分であった			ブランク
88	CJ				029900：その他			ブランク
89	CK			判断	030100：判断に誤りがあった			ブランク
90	CL				039900：その他			ブランク
91	CM			知識	040100：知識が不足していた			ブランク
92	CN				040200：知識に誤りがあった			ブランク
93	CO				049900：その他			ブランク
94	CP			技術（手技）	050100：技術（手技）が未熟だった			ブランク
95	CQ				050200：技術（手技）を誤った			ブランク
96	CR				059900：その他			ブランク
97	CS			報告等	060100：忘れた			ブランク
98	CT				060200：不十分であった			ブランク
99	CU				060300：間違いであった			ブランク
100	CV				060400：不適切であった			ブランク
101	CW				069900：その他			ブランク
102	CX			身体的状況	070100：寝不足だった			ブランク
103	CY				070200：体調が不良だった			ブランク
104	CZ				070300：眠くなる薬を飲んでいた			ブランク
105	DA				079900：その他			ブランク
106	DB		当事者に関すること	心理的状況	080100：慌てていた			ブランク
107	DC				080200：イライラしていた			ブランク
108	DD				080300：緊張していた			ブランク
109	DE				080400：他のことに気を取られていた			ブランク
110	DF				080500：思い込んでいた			ブランク
111	DG				080600：無意識だった			ブランク
112	DH				089900：その他			ブランク
113	DI		当事者に影響を及ぼした環境等に関すること	システム	110100：連絡・報告システムの不備			ブランク
114	DJ				110200：指示伝達システムの不備			ブランク
115	DK				110300：コンピュータシステムの不備			ブランク
116	DL				110400：作業マニュアルの不備			ブランク
117	DM				119900：その他			ブランク
118	DN			連携	120100：医師と看護職の連携不適切			ブランク
119	DO				120200：医師と技術職の連携不適切			ブランク
120	DP				120300：医師と事務職の連携不適切			ブランク
121	DQ				120400：医師間の連携不適切			ブランク
122	DR				120500：看護職間の連携不適切			ブランク
123	DS				120600：技術職間の連携不適切			ブランク
124	DT				120700：多職種間の連携不適切			ブランク
125	DU				129900：その他			ブランク
126	DV			記録等の記載	130100：字が汚かった			ブランク
127	DW				130200：小さくて読みにくかった			ブランク
128	DX				130300：記載の形式が統一されてなかった			ブランク
129	DY				130400：記載方法がわかりにくかった			ブランク
130	DZ				130500：記載漏れ			ブランク
131	EA				139900：その他			ブランク

132	EB			患者の外見（容貌・年齢）・姓名の類似	140100：患者の外見（容貌・年齢）、姓名の類似			ブランク
133	EC			勤務状況	150100：多忙であった			ブランク
134	ED				150200：勤務の管理に不備			ブランク
135	EE				150300：作業が中断した			ブランク
136	EF				150400：当直だった			ブランク
137	EG				150500：当直明けだった			ブランク
138	EH				150600：夜勤だった			ブランク
139	EI				150700：夜勤明けだった			ブランク
140	EJ				159900：その他			ブランク
141	EK			環境	160100：災害時だった			ブランク
142	EL				160200：緊急時だった			ブランク
143	EM				160300：コンピュータシステムがダウンしていた			ブランク
144	EN				160400：照明が暗かった			ブランク
145	EO				160500：床が濡れていた			ブランク
146	EP				169900：その他			ブランク
147	EQ	N 《ヒヤリ・ハットが発生した要因》	医療用具（機器）・薬剤・設備等に関すること	医療・歯科医療用具（機器）・器具・医療材料 ※147～155から1つのみ選択	210100：欠陥品・不良品だった			ブランク
148	ER				210200：故障していた			
149	ES				210300：複数の規格が存在した			
150	ET				210400：扱いにくかった			
151	EU				210500：配置が悪かった			
152	EV				210600：数が不足していた			
153	EW				210700：管理が不十分だった			
154	EX				210800：機器誤作動			
155	EY				219900：その他			
156	EZ			薬剤 ※156～165から1つのみ選択	220100：薬剤を入れる容器が似ていた			ブランク
157	FA				220200：薬剤の色や形態が似ていた			
158	FB				220300：薬剤名が似ていた			
159	FC				220400：複数の規格が存在した			
160	FD				220500：配置が悪かった			
161	FE				220600：管理が悪かった			
162	FF				220700：薬剤の性質上の問題			
163	FG				220800：薬効が似ていた			
164	FH				220900：薬剤の略号が似ていた			
165	FI				229900：その他			
166	FJ			諸物品 ※166～173から1つのみ選択	230100：欠陥品・不良品だった			ブランク
167	FK				230200：故障していた			
168	FL				230300：複数の規格が存在した			
169	FM				230400：扱いにくかった			
170	FN				230500：配置が悪かった			
171	FO				230600：数が不足していた			
172	FP				230700：管理が不十分だった			
173	FQ				239900：その他			
174	FR			施設・設備	240101：保守管理が不十分：電気系統			ブランク
175	FS				240102：保守管理が不十分：空調			ブランク
176	FT				240103：保守管理が不十分：衛生設備			ブランク
177	FU				240104：保守管理が不十分：通信設備			ブランク
178	FV				240105：保守管理が不十分：昇降設備			ブランク
179	FW				240199：その他の保守管理に関する問題			ブランク
180	FX				240200：施設構造物に関する問題			ブランク
181	FY				249900：施設構造物以外で施設・設備に関するその他の問題			ブランク
182	FZ		教育、訓練に関すること	教育・訓練	310100：教育・訓練が不十分だった			ブランク
183	GA				310200：マニュアルに不備があった			ブランク
184	GB				310300：カリキュラムに不備があった			ブランク
185	GC				319900：その他			ブランク
186	GD		説明、対応に関すること	患者・家族への説明	410100：説明が不十分であった			ブランク
187	GE				410200：説明に誤りがあった			ブランク
188	GF				410300：患者・家族の理解が不十分であった			ブランク
189	GG				419900：その他			ブランク
190	GH		その他	その他	990000：その他			ブランク
191	GI	N 《ヒヤリ・ハットが発生した要因》		「019900その他」の内容		*記述	*記述	ブランク
192	GJ			「029900その他」の内容		*記述	*記述	ブランク
193	GK			「039900その他」の内容		*記述	*記述	ブランク
194	GL			「049900その他」の内容		*記述	*記述	ブランク
195	GM			「059900その他」の内容		*記述	*記述	ブランク
196	GN			「069900その他」の内容		*記述	*記述	ブランク
197	GO			「079900その他」の内容		*記述	*記述	ブランク
198	GP			「089900その他」の内容		*記述	*記述	ブランク

199	GQ			「119900その他」の内容	*記述	*記述	ブランク
200	GR			「129900その他」の内容	*記述	*記述	ブランク
201	GS			「139900その他」の内容	*記述	*記述	ブランク
202	GT			「159900その他」の内容	*記述	*記述	ブランク
203	GU			「169900その他」の内容	*記述	*記述	ブランク
204	GV			「219900その他」の内容	*記述	*記述	ブランク
205	GW			「229900その他」の内容	*記述	*記述	ブランク
206	GX			「239900その他」の内容	*記述	*記述	ブランク
207	GY			「240199その他」の内容	*記述	*記述	ブランク
208	GZ			「249900その他」の内容	*記述	*記述	ブランク
209	HA			「319900その他」の内容	*記述	*記述	ブランク
210	HB			「419900その他」の内容	*記述	*記述	ブランク
211	HC			「990000その他」の内容	*記述	*記述	ブランク
212	HD	O《間違いの実施の有無及びヒヤリ・ハットの影響度》		コード表から選択	必須	必須	ブランク
213	HE	P《備考》		P《備考》	*記述	*記述	ブランク
214	HF	【医療・歯科医療用具（機器）に関連した事例】	記述情報報告	リザーブ	使用せず	使用せず	使用せず
215	HG			医療・歯科医療用具の販売名	ブランク	*セットで記述	*セットで記述
216	HH			医療用具の製造（輸入）業者名	ブランク		
217	HI			事例の内容	使用せず	使用せず	使用せず
218	HJ			原因、改善点・防止対策に関する意見	使用せず	使用せず	使用せず
219	HK	【医薬品に関連した事例】	記述情報報告	リザーブ	使用せず	使用せず	使用せず
220	HL			関連した薬剤名	ブランク	*セットで記述	*セットで記述
221	HM			関連した薬剤名の剤型	ブランク		
222	HN			関連した薬剤名の規格単位（含有量、濃度）	ブランク		
223	HO			本来投与すべき薬剤名	ブランク	*セットで記述	*セットで記述
224	HP			本来投与すべき薬剤名の剤型	ブランク		
225	HQ			本来投与すべき薬剤名の規格単位（含有量、濃度）	ブランク		
226	HR			事例の内容	使用せず	使用せず	使用せず
227	HS			原因、改善点・防止対策に関する意見	使用せず	使用せず	使用せず
228	HT			備考	使用せず	使用せず	使用せず
229	HU	【諸物品に関連した事例】	記述情報報告	リザーブ	使用せず	使用せず	使用せず
230	HV			諸物品の販売名	ブランク	*セットで記述	*セットで記述
231	HW			諸物品の製造（輸入）業者名	ブランク		
232	HX			事例の内容	使用せず	使用せず	使用せず
233	HY			原因、改善点・防止対策に関する意見	使用せず	使用せず	使用せず
234	HZ	【基本的項目】	記述情報報告	事例の具体的な内容	ブランク	必須	必須
235	IA			事例が発生した背景・要因	ブランク	必須	必須
236	IB			実施した、もしくは考えられる改善案	ブランク	必須	必須
237	IC	施設任意（施設で自由に使用できます。）			任意	任意	任意
238	ID	施設任意（施設で自由に使用できます。）			任意	任意	任意
239	IE	施設任意（施設で自由に使用できます。）			任意	任意	任意
240	IF	施設任意（施設で自由に使用できます。）			任意	任意	任意
241	IG	施設任意（施設で自由に使用できます。）			任意	任意	任意
242	IH	施設任意（施設で自由に使用できます。）			任意	任意	任意
243	II	施設任意（施設で自由に使用できます。）			任意	任意	任意
244	IJ	施設任意（施設で自由に使用できます。）			任意	任意	任意
245	IK	施設任意（施設で自由に使用できます。）			任意	任意	任意
246	IL	施設任意（施設で自由に使用できます。）			任意	任意	任意
247	IM	【事例のカテゴリー】	《事例に関連する診療科》	コード表から選択	ブランク	必須	必須
248	IN			「その他」を選択した場合の内容	ブランク	*記述	*記述
249	IO		《内容》	コード表から選択	ブランク	必須	必須
250	IP			「その他」を選択した場合の内容	ブランク	*記述	*記述
251	IQ	【医療・歯科医療用具（機器）に関連した事例】	記述情報報告	医療・歯科医療用具（機器）の購入年　西暦表記(数字4桁)	ブランク	*記述	*記述
252	IR	【諸物品に関連した事例】	記述情報報告	諸物品の購入年　西暦表記(数字4桁)	ブランク	*記述	*記述
253	IS	【医薬品に関連した事例】	記述情報報告	関連した薬剤の製造（輸入販売）業者名	ブランク	*記述	*記述
254	IT			本来投与すべき薬剤の製造（輸入販売）業者名	ブランク	*記述	*記述